

あきのくに あきぐん かいたいち ちばけ  
安芸国安芸郡海田市 千葉家文書 目録

(『広島県立文書館 収蔵文書目録』第3集 所収)

広島県立文書館

平成26年(2014)9月

凡 例

1 本目録は、『広島県立文書館 収蔵文書目録』第3集(平成6年3月刊)に掲載された「安芸国安芸郡海田市 千葉家文書」の目録である。

2 目録の各項目は以下のとおり。

請求番号 本文書群の群番号(198812)と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 21/1 (請求記号)

198812
21
1

表 題 資料にある原表題をそのまま採った。原表題がないものは、仮題を付けて〔 〕書きとした。内容について補記が必要な場合は、( )書きで補った。頭に○を付したのは、集合形態等をした文書の内訳であることを示す。

印を付けた文書は、複数の項目に重出させたものである。

年 代 資料に記された作成年月日を探り、推定は( )書きとした。

作 成 資料にある作成者名をそのまま採り、資料に授受関係のあるものは で結んで表記した。

形 態 資料の形態を記した。

数 量 資料の点数を記した。

備 考 補記すべき備考があれば、 付きで示した。

3 文書の排列は、文書群固有のあり方に基づき、項目別に編成した。同一項目内の文書は、原則として年代順としたが、年未詳のものは、末尾に置いた。

4 利用の参考のため、本文書群の解説を冒頭に付した。

5 本目録で使用している日本語文字のうち、JIS規格(JIS X 0208:1997)に含まれないものは、“ 箆, 扣, 惕, 湜, 蓀, 莠, 𠂔 ” および, ① などの丸付き数字である。これは、特殊な方法で表示してあるので、JIS第4水準(JIS X 0213:2004)までに対応した環境でなければ、文字(テキスト)として検索・抽出することはできない。本ファイルの利用にあたっては、その点に留意されたい。

## 小 目 次

1 中世 .....	1	音韻 字書 辞典	
2 近世・近代 .....	1	(5)文学 .....	24
(1)支配 .....	1	物語・滑稽本 読本 和歌 歌学 俳句	
広島藩・浅野家 東照宮祭礼 触・達		(6)音楽・演劇 .....	25
(2)町村 .....	2	歌謡 謡曲 浄瑠璃	
村況 町役 出役		(7)歴史 .....	31
(3)交通・運輸 .....	2	総記 通史 実録 伝記 系譜	
天下送り・宿送り役 宿駅		(8)地理 .....	32
(4)金融 .....	4	地誌 地図 絵図・案内	
(5)裁判 .....	4	(9)法制 .....	33
(6)千葉家 .....	4	法令 補任 典例儀式	
土地 租税 家計 寄進 普請 土地		(10)教育 .....	33
購入 土地売却 救恤 農業 酒造		心学 教訓 往来物・教科書	
材木業 土建業 家系・目録 家督 褒		(11)理学 .....	34
賞 吉凶 紀行・日記 貸借 書状 学		曆 和算 珠算・数学	
芸		(12)産業 .....	36
(7)聞書 .....	22	(13)芸術 .....	37
(8)その他 .....	22	(14)諸芸 .....	37
3 典籍 .....	22	茶道 作庭 華道 占卜 遊技	
(1)漢籍 .....	22	(15)武芸 .....	37
(2)漢学 .....	23	武芸 馬術	
(3)宗教 .....	23	(16)一枚刷 .....	38
神道 祭祀		(17)諸記貫写集 .....	38
(4)言語 .....	24	(18)手本・手習い .....	41

## 解 説

### 1 千葉家文書の伝来と寄託の経緯

千葉家文書全621点は、所蔵者の株式会社千葉物流倉庫（広島市南区宇品海岸）社長、千葉諭吉氏のご厚意により当文書館に寄託された文書群である。当文書群は2度にわたって寄託を受けた。第1回は、昭和63年11月14日付けで、安芸郡海田町中店162-1の千葉邸土蔵一階で、衣装函2つに入れられた古文書と、段ボール箱1つ、慳貪蓋形本箱13個に入れられた典籍類、609点を受け入れた。第2回は、翌平成元年3月28日付けで、広島市南区の自宅で保管されていた中世文書9適〔1~9〕及び「古文書 七通」と記された古文書入袋〔10〕、「系図略写并古器物目録控」〔11〕の計以上11点を受け入れた。

当文書のうち中世文書7点〔1~5, 7・8〕は、明治24(1891)、25年ごろ、東京大学史料編纂所が当時の海田町長を介して調査しており、その後調査分の古文書を入れるために「古文書 七通」と記された古文書入袋が千葉家で作製されたという。『広島県史』編さんにあたっては、昭和49年に調査を行い、中・近世文書14点〔1~11等〕を写真撮影した。これらは『広島県立文書館複製資料目録』第1集に収められ、当館で利用することができる。このうち中世文書9点〔1~9〕は『広島県史』古代中世資料編IVに収録されている。

また昭和50年頃には、安芸郡海田町教育委員会に設置された海田町史編纂室によって分類（中世文書、支配、土地、村、治安、凶荒・救恤、産業、農林業、金融・貸借、商業・売買、交通・運輸、家、宗教、習俗、学芸）された上で、本格的な整理が行われた。この目録は、『海田町史料所在目録』（昭和52年3月、海田町教育委員会編、海田町役場発行）に収められている。

なお、『海田町史』資料編には中世文書9点〔1~9〕、元禄8年(1695)の「天下送り・宿送りの定め」〔複製資料〕、天保4年(1833)の「天下送宿送相勤候年限、村内極難渋者へ施遣入、東照宮様御祭礼神馬一件共申上候頭書帳」〔244〕、旧記〔463〕、千葉家由緒書〔複製資料〕が収録されている。

### 2 海田市の概況

千葉家のある安芸国安芸郡海田市（現安芸郡海田町）は、瀬野川の下流の平地に位置し、西は広島湾、西北は同郡船越村（現広島市安芸区）、東は同郡奥海田村（現安芸郡海田町）、南は同郡矢野村（現広島市安芸区）、同郡坂村（現安芸郡坂町）と接する。江戸時代を通じて広島藩の明知であった。

南は瀬野川河口、北は西国街道に挟まれた当地は、中世からすでに陸上・海上交通の要衝であり、物資の集散地であった。平安末に成立した開田荘の中心は奥海田村（現海田町東海田）付近であったが、今に地名が残る二日市では、古くから付近の島・浜から貝類を持ち寄って市が立つとともに瀬野川筋の諸物資の積み出し港になっていたと考えられている。

浅野氏が入国した元和5年(1619)当時、海田村は村高48石余の小村に過ぎなかった。しかし、寛永8年(1631)、海田・西条四日市間が銀1匁6分5厘、海田・広島間が銀6分などといった西国街道の各駅間の駄賃が定められ、同10年には以後本陣としての役割を果たすことになる御茶屋が設置され、西国街道の道筋が固定されると、しだいに町並みが形成されるようになった。同14年の「安南郡海田地詰被成候のとり帳」（『海田町史』資料編、以下『資料編』とする）によると、田畠は32筆で、高8石6升3合であったのに対して、屋敷地、及び御茶屋を初めとする公的施設は合計81筆、高40石3斗1升7合に及び、典型的な町（現在の上市・中店に当たる地域）が形成されていたことがわかる。庄屋・組頭のほかに、はじめて年寄役が置かれたのは寛文元年(1661)である。その後まもなく海田村は海田市と改称されたと思われる。同2年には明顕寺以西に新町屋敷12石余が高付けされ、享保(1716~36)頃には東西6間27町まで伸長し、この頃までには海田市の町並みはほぼ今日の通り整えられることとなった。

海田村成立当初の有力商人は、千葉家（神保屋）を含めて、海田村の成立と前後して村外、とくに広島域下から来住した人々であった。千葉家とならび、江戸時代を通じて庄屋・年寄の要職を勤

めた加藤家(猫屋)は、天正年間に府中村から広島城下猫屋町に出て商家となり、その後休心の時代に海田市に移り住んで農業のほか廻船業を営み、福島時代に城中の薪炭御用を勤めたと伝えられる。

干潟であった瀬野川の南側は、寛永14年(1537)以降新田の開拓が進み、そのため同15年には海田市の村高は190石余、承応2年(1653)322石余、正徳5年(1715)には1,303石余にも達した。とくに領内8郡、1万2千余人を動員して寛文元年に築調された新開は81町5反15歩、525石余の大新開であった。

それとともに人口も急激に増加している。寛永年間(1624~43)には545人に過ぎなかった人口は、正徳2年(1712)には1,676人を数えるに至る(「海田市旧記」・「安芸郡海田村差出帳」、以上『資料編』)。また、享保13年(1728)の家数全309軒のうち役家が80軒であるのに対して、借家は128軒を数え、はやくから借家人・浮過層が増大していたことを確認できる(「海田浦家数御改帳」、『資料編』)。これには、西国街道で駄賃稼ぎをしたり、また、次々と新開が築調されたことにより農業に従事するといった就労の機会を求めて、借家人・浮過が海田市へ来住したことが想定される。人口はその後、文化11年(1814)に2,708人を数えることになる(海田市「国郡志御編集二付下弾書出帳」〔440〕、以下「国郡志」とする)。

享和2年(1802)には、尾張の商人菱屋平七が海田市を通過し、その印象を「浜手を廻れば海田市宿、人家八百軒計、大型瓦葺にて宿屋、茶屋、商家多し」と、「筑紫紀行」(『資料編』)に記している。瓦葺で一目に商家とわかる家が軒を並べていたようである。店商いでは穀物・茶・塩・味噌・醤油・酒・木綿・灯油・蠟燭・端物・小間物・干物・荒物・菓子類・草履・わらじなどの食料品・日用雑貨を取り扱っていた。蠣・小貝・蛤・鯛・塩物といった海産物を近村へ売り歩く行商人も少なくなかった。なかには広島で小間物や鰹を仕入れて三次や庄原、尾道まで出掛ける者もあった。海田沖には、九州・伊予・長州から穀物・茶・多葉粉・豊表・からつ物・干鰯を積んだ船が停泊し、問屋に荷を降ろした(「国郡志」)。

新開は「土地合砂交り二而稲作・麦等出来立不立方二被相考申候、専綿作二向き申候土地合」(「国郡志」)であるため、海田市の農業は綿作中心であった。寛保元年(1741)の「安芸郡海田市覚」(『資料編』)によれば、当時の木綿の作付け面積は新開だけで107町余にも及ぶ。

農間余業は「多葉粉切・木綿売買・小商人・日雇・中背働・磯物蠣・小貝類取・船乗水主・鰯売・船賃繰・綿打・木綿織延・船商売」で、綿の加工業が目立ち、綿の植え付けやその世話のため多くの浮過の人々が農民に雇用され、日雇いに従事していた(「国郡志」)。なお、海産物のうち、干潟の沖合で養殖され「別而風味能御座候」と好評であった海田蠣(浅野家文書「御領分諸色有物帳」)は、草津や矢野に押されて販路の開拓が困難で伸び悩んだらしい。一方で、焼くと肥料となる牡蠣殻は重宝がられ、上方へ販売されている。

### 3 千葉家について

#### (1) 中世文書の性格と伝来

千葉家の由緒書「系図略写并古器物目録」〔11〕によると、かの「千葉上総介平忠常」がこの家の先祖に当たる。胤季まで17代は下野国真壁に住んだが、彼の子経胤のときに信濃国伊那谷に移り、その地名に因んで「神保氏」を称するようになった。また、永正年間(1504~21)になると神保長胤の子「信胤」が信濃国伊那谷から安芸国に来て、毛利家に属したと考えられる。さらに、信胤の孫「新四郎」が、天正年間(1573~92)に海田市に移ってきて、「百姓」になったとも記してある。おそらくは、神保屋の口伝や残された9通の中世文書をもとにして、このような理解が生まれたのであろう。しかし、後掲の系譜による限り、戦国時代以前はいささか無理があるように思う。

まず最初に、9通の中世文書の内容を簡単に紹介しよう。〔1〕神保信胤は東西条で永正6年(1517)以前に20貫文近くの土地を買得し、それを給恩の地として大内義興から安堵された。〔2〕神保房胤は大内軍に加わって、天文5年(1536)11月に平賀興貞の頭崎要害を攻め、主君大内義隆からその手負注文に証判を請ける。〔3〕神保五郎は天文24年(1555)10月1日の厳島合戦で勲功を挙げ、

小早川隆景から感状を受ける。〔4〕神保五郎は小早川隆景に訴えて、賀茂郡黒瀬において5貫文の地を給与する旨の約束を得る。〔5〕神保五郎は乃美宗勝を介し、小早川氏奉行人から10貫文の地の打渡の保証を受ける。〔6〕豊臣秀吉は大坂までの継飛脚の費用について、文禄2年(1593)6月29日付けで1里につき4文と定める。〔7〕筑前国の隠居領の支配などにつき、小早川隆景は現地の実務役人に19箇条の指示を与える。〔8〕小早川隆景は神保源右衛門尉から鶴を贈られたのを謝す。〔9〕毛利輝元は神保源右衛門尉からねり酒2樽などを贈られたのを謝す。

さて次に、これら9通の中世文書は宛所から判断すると、以下の4つのグループに分けることができる。

- I 神保新右衛門尉信胤に関係のもの〔1〕 永正6年(1517)
- II 神保彦三郎房胤に関するもの〔2〕 天文6年(1537)
- III 神保五郎に関するもの〔3~5〕 天文24年(1555)~天正20年(1592)
- IV 神保源右衛門尉に関するもの〔6~9〕 天正15年(1587)~慶長4年(1599)

これらの4つのグループのうち、わずかにIVの神保源右衛門尉のみ、他家の文書でもその活躍のあとが確認できる。そこで、神保源右衛門尉に手掛かりを求め、グループそれぞれの関係、文書群全体の性格を探ることにする。

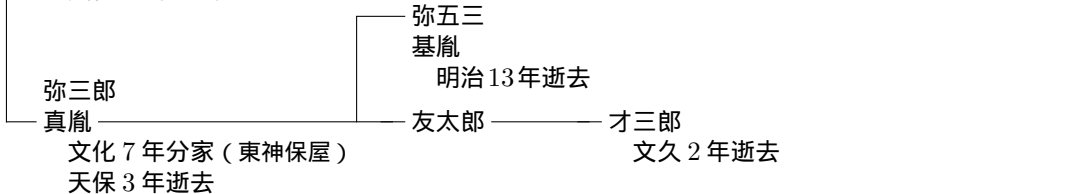
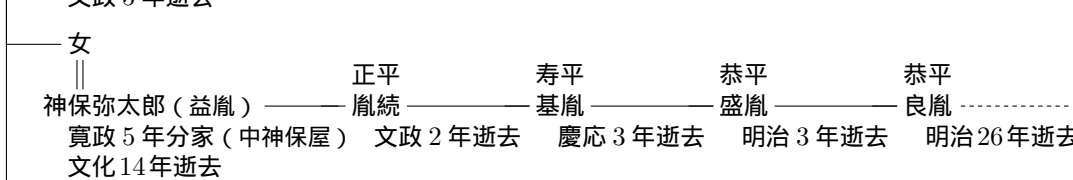
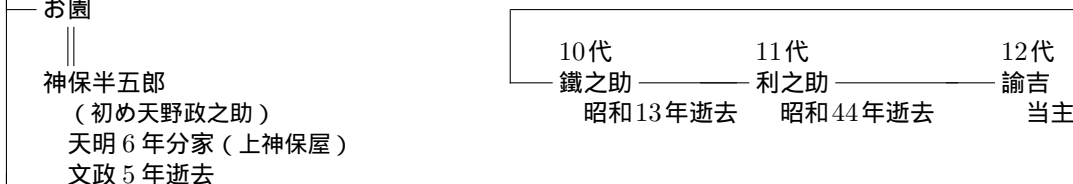
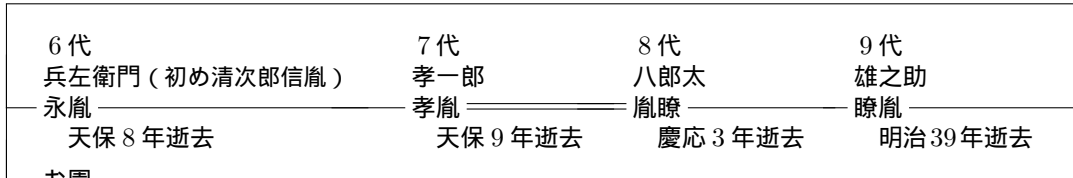
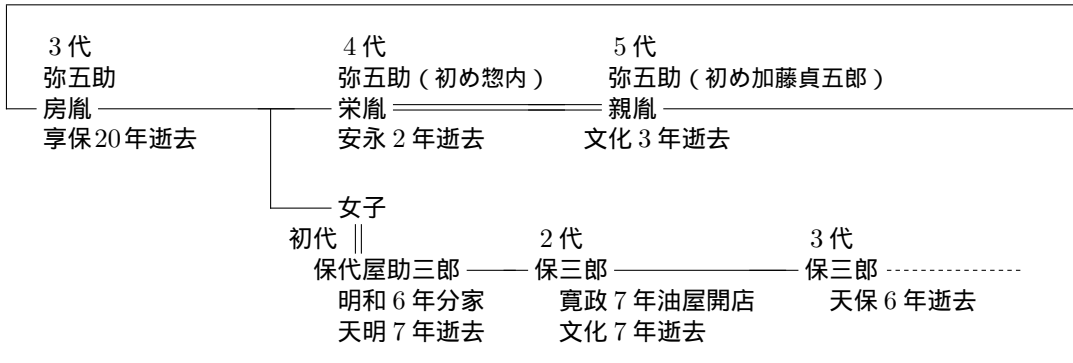
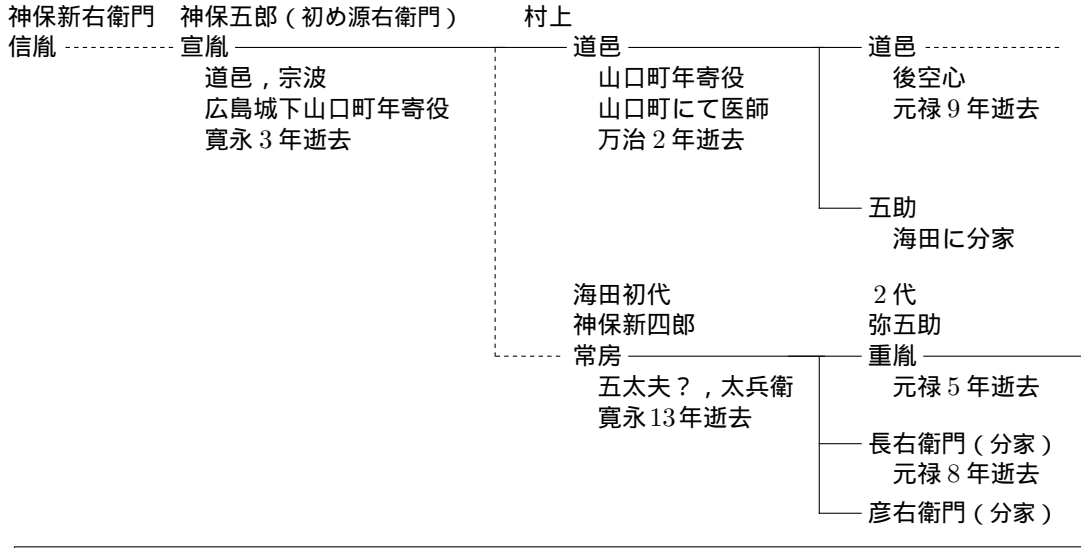
筑前国は天正15年(1587)6月に小早川隆景の所領となり、その翌年には惣検地が実施された。神保源右衛門尉はこの検地のおりに、同国の志摩郡で「竿頭」を勤めたことが知られるから、小早川隆景の家臣であったことは確かである。なお、小早川隆景が慶長2年(1597)6月に没すると、筑前国の遺領5万石は豊臣政権に没収された。しかし、神保源右衛門尉や高尾又兵衛尉(盛吉)・宗近善右衛門尉(長勝)らの実務役人は、そのまま筑前国に留まり、豊臣政権の吏僚として活動することになった。慶長2年(1597)7月15日付けの御使山中長俊の書状によると、神保・高尾・宗近の3人の実務役人は、朝鮮諸城の兵糧米や水夫飯米の調達・補給を命じられている。小早川秀秋が越前国に転封すると、翌年5月には石田三成が筑前国代官として派遣された。神保源右衛門尉らの実務役人は、石田三成のもとでも、それまでと同じような役割を果たすことになった。神保源右衛門尉の名前が確認できるのは、慶長4年(1599)正月19日付けで、恰土・志摩・早良の3郡の未進年貢の津出しを命じた指令書が最後である。その後まもなく、小早川秀秋が筑前国領主に復帰し、隆景の遺臣たちは活動の場を失うことになったからであろう。

かくして、神保源右衛門尉は小早川隆景の家臣であり、主人の没後も豊臣政権の吏僚として引き続き筑前国支配の実務に当たっていたことが分かる。しかし、慶長4年正月以降は浪人して同地に留まるか、他国に赴いたものと考えられる。千葉家伝来のIVグループの文書のうちに、継飛脚に関する豊臣秀吉朱印状〔6〕や小早川隆景の筑前国の隠居領支配が分かるヶ条〔7〕が含まれることからすると、神保源右衛門尉は安芸国に戻った可能性が高いように思われる。だが、千葉家の由緒書による限り、海田千葉氏の先祖は「新四郎」という人物であって、この源右衛門尉との関係を確認する明証は得られない。ただし、両人が全くの別人でも、その一族であったことは間違いのないように思う。

さて、千葉家の由緒書の中には、IIIグループの神保五郎の息子が「新四郎」に当たるとするものがある〔11〕。この神保五郎もまた小早川隆景の家臣であった。神保五郎の訴えに対して、小早川氏奉行人(井上春忠・磯兼景道)が連署し、所領の給与を保証した捻文が2通伝わっている〔4・5〕。天文24年(1555)10月1日付けの小早川隆景感状〔3〕は写しではあるが、それほど大きな違和感を感じられない。なお、『知新集』によると、神保五郎は浪人して医者になり、広島城下の山口町に住まい、その名前も「道巴」に改めたとされる。この家伝に従うならば、神保五郎が浪人したのは小早川隆景が没した慶長2年(1597)6月以降とも考えられる。だが、捻文の宛所の一人「兵部丞」(乃美宗勝)は、天正20年(1592)9月23日に没している。神保五郎の活動時期についても、天文24年(1555)以前から慶長年間(1596~1615)までと考えるのはいささか無理であろう。あるいは、親子2代で「神保五郎」と称したことも考えられる。ところで、神保五郎は小早川水軍の総大将乃美宗勝に恩賞の推挙を頼んでおり〔5〕、彼の一所衆的な立場にあったとも推測される。そうすると、

彼もまた海と深いつながりを持ち、廻船業などに従事していた可能性をも考慮に入れることが必要になる。

安芸初代



それでは、IIグループの神保彦三郎房胤はというと、天文6年(1537)5月3日付けの手負注文による限り、ある程度の軍勢を率いる侍大将と考えられる。Iグループの神保新右衛門尉信胤もまた、永正6年(1517)頃に東西条の内で所領を買い求めており、かなり富裕であったと推測せざるを得ない。そして、いずれの文書も、大内氏の当主の証判を得ているのが分かる。天文6年以前の段階では、神保信胤や神保房胤は大内氏に属し、東西条に本拠を置いていたものといえよう。しかし、この兩人相互の関係、あるいは神保五郎との関係についても明証が得られない。

(2) 海田市への移住

すでに述べたように、『知新集』は、神保五郎が浪人の上、広島城下山口町に来て医者となり、道巴と改名し、慶長の頃から年寄役も勤めたという。その子もやはり道巴(2代目)と名乗り年寄役を勤め、5代目から村上と改姓している。「千葉家由緒書」〔複製資料〕によれば、海田市に移住したのは五郎のもう一人の子新四郎である。新四郎が海田市に移住したのは天正年間(1573~92)と伝えられるが、実際には海田村が成立した近世初頭であろう。千葉家は海田市来住当初から「神保屋」の屋号を称している。

(3) 海田市駅と天下送り・宿送り

西国街道の宿駅である海田市での千葉家は、まず「天下送り・宿送り役」として知られる。「天下送り」とは幕府の書状や荷物を継ぎ送る任務、「宿送り」とは広島藩の公用書状などを継ぎ送る任務である。「天下送り」は本来宿駅が行うものであるが、広島藩においては宿駅固有の任務とせず、特定の家に専門的に請け負わせたのである。両役とも江戸初期から行われていたが、制度化されたのは、天下送りは正保(1644~48)ころから、宿送りは元禄8年(1695)ころからと考えられる。元禄8年12月に天下送り・宿送りに関する規定が定められ、この通送の両役をまとめて特定の家が担当することになったのである。この時海田市で両役を担当することになり、一時期を除いて以後代々勤めたのが神保屋千葉家であった(ただし、「千葉家由緒書」〔複製資料〕では宿送り役に初めて任じられたのは正保元年であるとする)。千葉家には元禄8年のこの規定書〔複製資料〕が残され、給米として切米15石2斗6升が厘米から支給されたことがわかる。

表1 天下送り・宿送りの度数と送り夫数

年代	内訳	天下送り		宿送り	
		度数	送り夫数	度数	送り夫数
元禄5(1692)		62度	329人	度	人
享保元(1716)		107	769	162	209
" 4(1719)		79	613	213	308
元文5(1740)		75	361	136	185
延享3(1746)		59	287	282	397
寛延2(1749)		82	495	194	261
宝暦6(1756)		78	429	161	249
寛政3(1791)		79	806	167	334
文化元(1804)		100	916	153	306
" 3(1806)		91	777	154	296
文政2(1819)		100	1,078	153	306
天保5(1834)		98	?	128	?
弘化2(1845)		119	976	132	264
嘉永5(1852)		111	1,115	147	294
万延元(1860)		124	1,082	113	226
文久元(1861)		113	654	78	156
" 2(1862)		125	826	63	126
慶応元(1865)		127	400	7	14
" 2(1866)		95	226	4	8

各年次「天下送り井御国宿送御往来諸控帳」〔220~238〕による。  
 (『海田町史』通史編 248 頁より引用)

千葉家に残された天下送りや宿送りの遞送に関する帳簿から、年間の度数とそれに要した送り夫(村夫の動員)の人数をまとめたのが表1である。文政～嘉永年間には天下送りと宿送りを合わせた送り夫数は年間1,300人に達していたことがわかる。

千葉家は、宿駅海田市における本陣(御茶屋)や脇本陣といった公的な宿泊施設に指定されていたわけではないが、ときには上級武士の宿泊を引き受けることもあり、天保8年(1837)から14年までに同家に休泊したそれぞれの収支や料理内容を記した「御通行休泊加帖」〔複製資料〕からその実態をうかがうことが可能である。海田市に残る千葉邸は、西国街道の数少ない脇本陣に準じる遺構(御成門、千鳥破風入母屋造りの玄関、数寄屋風書院造りの座敷)として、平成3年4月に広島県の重要文化財に指定された(同時に庭園も広島県名勝の指定を受けた)。

#### (4) 町役と村役

町役と村役の就任年代について6代弥五助は、寛政5年(1793)に「御役儀相続之儀御尋二付申上ル書付」〔500〕で次のように述べている。

年寄  
弥五助

右者当時<sup>カ</sup>五代已前弥五介<sup>カ</sup>私迄与頭役相勤申候所、十一年已前卯年<sup>カ</sup>年寄役被為仰付、五代御役相勤申候、尤年来之儀八当所新開寛文元年二出来、せわりも右役中ニ而御座候、是方已前之儀八相知レ不申候

これと前掲系図をあわせると、資料上で最初に町役就任が確認できるのは寛文元年(1661)、2代弥五助の与頭役であり、5代弥五助まで代々与頭役を勤めたことになる(他の文書では未確認)。村役では、このほか延宝4年(1676)に分家した神保長右衛門が海田市庄屋を任じられている(加藤家文書「海田市旧記」、『資料編』所収)。5代弥五助が初めて町年寄に任じられたのは、さきの資料によると、寛政5年(1793)より「十一年已前卯年」、天明2年(1782、卯年は3年)であり、「海田市旧記」によると「天明元子」年(天明元年は丑年であり、子年とすると安永9年)である。この5代弥五助は、寛政6年、海田市が川掘りを行った掘土を利用して、隣村の船越村沖に新開を築調しようとして船越村と争論となった事件の責任を問われ、宿送り役を含めて辞任させられている。

6代目兵左衛門(文政12年、清次郎から改名)は、寛政9年(1797)に与頭役となったが、同11年には退役、宿送り役となり、文政7年(1824)から年寄役を兼ねた(「千葉家由緒書」,「海田市旧記」)。7代孝一郎も宿送り役を勤めたほか年寄同格となり、天保6年(1835)には、豊田郡大崎東野村で起こった争論の出役となって現地へ出張している〔265〕。若くして死去した孝一郎を相続した8代八郎太は、分家東神保家から本家に入った。その経緯は「家督相続方並形見分一件諸書類入」〔372〕に詳しい。八郎太は天保11年〔502〕に宿送り役、同13年に年寄役見習〔501〕となり、安政元年(1854)には年寄本役に就任している〔503〕。また慶応2年(1866)、安芸郡割庄屋からの歎願を受けて船越村に設置された安芸郡綿改所の頭取にも名を連ねている(『資料編』)。9代雄之助は、明治4年(1871)、安芸郡社倉支配役同格から海田市年寄に任じられている〔567-3〕。

#### (5) 千葉家の家業

千葉家の家業でまずあげられるのは酒造業である。海田市で酒造株を持つのは2軒だけで、そのうち1軒は文政6年(1823)当時、分家の東神保屋弥三郎である。本家がこの酒造株を得た時期を明らかにすることはできないが、歴代相続されてきたものであろう。この株の元禄以降の動向を追うことができるので参考のために記しておきたい。元禄12年(1699)当時は造り高40石であったものが天明5年(1785)には200石に増大、しかし同8年には天明飢饉対策として従来の3分の1に制限された。その後寛政10年(1798)から再び増石に転じ、文政7年では350石を酒造している。嘉永3年(1850)には酒造株(高440石)を低当にいれて借金し、文久元年(1861)には酒造仕込金を調達しようとするなど苦心しながらも、明治初年までは酒造業を続けていた(『海田町史』通史編、以下『通史編』とする)。

千葉家文書には養蠶に関する資料は見えないが、天保5年(1834)年段階で、神保屋以外の蠶篭の保有量が10間以下なのに対して、神保屋八郎太(天保5年当時は分家)は21間3分の蠶篭を保有し



ている。その保有量は弘化5年(1848)には23間3分までになっていることが確認できる。

明治以降は材木業や倉庫業を営んでいる。材木業は明治32年(1899)に海田市で開業し、42年には広島市舟入町に移転したが、45年にはいったん廃業して海田市に引き揚げた。大正2年(1913)に再度広島市元宇品で材木店を開業したが振るわず、11年に転業して宇品倉庫株式会社を創業した。千葉家文書には材木業再開後の大正年間の経営帳簿が残されている。

宇品倉庫株式会社は昭和5年(1930)に改組して合資会社千葉倉庫と改称した。さらに戦後の昭和23年株式会社に改組、59年に株式会社千葉物流倉庫と改名して現在に至っている。

宇品に移転してからは、大正8年(1919)に宇品土地株式会社を創設して宇品の埋め立て工事にも着手し、昭和4年(1928)に第一工区・第二工区を完了、つづいて翌5年に第三工区も完了、それと同時に向宇品に向かう眼鏡橋付近の道路を広島市に寄付した。それは終戦頃までは「神保通り」と呼ばれていたという。

(6) 土地所有

千葉家の土地所有状況については、近世前期は断片的な資料しか残されていないため不明な点が多いが、寛永14年(1637)には、公的施設を除けば海田市最大の間口17間に及ぶ屋敷を持つことなどが示すように、海田市でも有数の経済力をもつ家であったことは間違いない。享保13年(1728)にも、海田市で最大の15間口に次ぐ10間口の屋敷を「弥五助裏かしや」としていることが同年の「安芸郡海田浦家数御改帳」(『資料編』)に見え、大きな借家と多くの借家人を抱えていたことがわかる。

その後、新開にも多数の田畠を得、寛政11年(1799)には、海田市では一人突出した211石余の田畠を所有している〔463〕。ところが化政期にはいと千葉家は経営危機を迎え、たとえば、文政12年(1829)には25棟(52竈)の屋敷を質入れして銀30貫目を借用する〔461〕など、持高を一括して連年質入れするようになり、天保期には実際に田畠を手放していることは、残された多くの売券や借用証文が物語るところである(『通史編』)。これは、明和6年(1769)に保代屋、天明6年(1786)に上神保屋、寛政5年(1793)に中神保屋、文化3年(1806)に向神保屋、文化7年(1810)に東神保屋と、文化年間までに多くの分家を出したことも影響していると思われる。そして、万延元年(1860)にはついに持高は28石余までに減少したのである。

(7) 救済事業

千葉家では代々の当主が、貧窮者や火災の罹災民に対して米銀を助勢している。また、宿送り役を勤めていることもあり、屋敷内に設けた休所に茶や麦粉を置いて、西国街道を往来する旅人や村内の困窮者に施していた。残された資料からわかる千葉家の救済事業は表2の通りである。

表2 千葉家の救済事業

年 月 日	人 数	救恤麦ほか	救 恤 銀
天明5(1785).2.15	233人	粃 2.33石	23.3匁
天明7(1787).3	431人	麦 4.31	
寛政2(1790).7.18	119軒	米 4.06	
寛政9(1797).2.15	185人	麦 1.85	
寛政12(1800).4.28	185人	麦 1.85	
享和元(1801).2.15	223人	麦 2.265	
享和2(1802).4.15	315人	麦 3.4	
享和3(1803).2.3	325人	麦 3.27	
文化元(1804).4	282人	麦 4.845	
文化6(1809).2.20	383人	麦 4.37	
文化11(1814).4.17	376人	麦 5.65	
文化14(1817).3.2	611人	麦 12.03	
文政12(1829).1.21	559人	麦 5.8	
天保2(1831).1.17	605人	麦 6.75	

「天下送宿送相勤候年限村内極難渋者へ施遣又東照宮様御祭礼神馬一件共申上候頭書帳」(天保4年)〔244〕による。(『海田町史』通史編 353頁より引用)

記録に残る最初の救済は、藩内でも11万石の損耗を出した天明飢饉の2年後、天明5年(1785)である。このときは村内の難渋者233人に対して1人につき粗1升と銀札1分を配っている〔250〕。困窮が慢性化する文化年間以降は対象人数も増加し、配分も多いときには1人2升余になっており、村内で千葉家救済の恩恵に浴した人数はこの表に現れる約50年間で延べ4,700人を越える。これ以外にも、寛政5年(1793)夏には、蚊帳200たれを購入(代銀4貫700目)して、村内の難渋者で蚊帳が釣れない者に無料で貸与している。これは秋に返納させて翌年夏にまた貸与する方法をとろうとしたが、次第に返却しないものが現れ、うやむやになったという。兵左衛門が当主であった時代の千葉家は、さきに述べたように家計困難の時代であったにもかかわらず、家計を切り詰めてまでも、天明・天保と打ち続く凶作・飢饉によって急増する難渋者に対する施しを続けている〔11〕。それは逆に言えば、代々天下送り・宿送りや町役人を勤める千葉家の村内での信望が厚かったことの現れである。

#### 4 目録編成と文書の概要

当館で受け入れた後に当文書群の再整理を行ったが、すでに海田町史編纂室によって分類整理が行われおり、またビニール紐で括られたものが原形を保ったままなのか不分明であった。したがってこれらは整理者が単独の番号を与えるか、または枝番号を与えるか判断せざるを得なかった。なお、<sup>けんどん</sup>慳貪に入れられていた典籍類は慳貪ごとに番号を与え、そして棚があるものは棚ごとに、さらに1冊ごとに枝番号を与えた。

目録の編成にあたっては、まず、1 中世、2 近世・近代、3 典籍の3つの大項目を立てた。近世・近代文書をまとめたのは、「千葉家」以外の近代文書は1点にすぎないためである。1の中世は10点と少ないため年代順とし、2と3はさらに内容分類して中項目及び小項目を立てている。なお、千葉家文書には衰微した分家中神保屋、東神保屋の資料も一部含まれることを付言しておく。

2の近世・近代では、①支配、②町村、③交通・運輸、④金融、⑤裁判、⑥千葉家、⑦聞書、⑧その他の8つの中項目を立て、さらに、①支配では、「広島・浅野家」、「東照宮祭礼」、「触・達」の3つ、②町村では「村況」、「町役」、「出役」の3つ、③交通・運輸では、「天下送り・宿送り役」、「宿駅」の2つ、⑥千葉家では、「土地」、「租税」、「家計」、「寄進」、「普請」、「土地購入」、「土地売却」、「救恤」、「農業」、「酒造」、「材木業」、「土建業」、「家系・目録」、「家督」、「褒賞」、「吉凶」、「紀行・日記」、「貸借」、「書状」、「学芸」という19の小項目を立てた。

3の典籍では、『国書総目録』や『内閣文庫国書分類目録』などを参考にして分類を行った。まず、①漢籍、②漢学、③宗教、④言語、⑤文学、⑥音楽・演劇、⑦歴史、⑧地理、⑨法制、⑩教育、⑪理学、⑫産業、⑬芸術、⑭諸芸、⑮武芸、⑯一枚刷、⑰諸記貫写集、⑱手習いの18の中項目を置いた。さらに、③宗教では「神道」と「祭祠」の2つ、④言語では、「音韻」、「字書」、「辞典」の3つ、⑤文学では、「物語・滑稽本」、「読本」、「和歌」、「歌学」、「俳句」の5つ、⑥の音楽・演劇では、「歌謡」、「謡曲」、「浄瑠璃」の3つ、⑦歴史では、「総記」、「通史」、「実録」、「伝記」、「系譜」の5つ、⑧地理では「地誌」、「地図」、「絵図・案内」の3つ、⑨法制では、「法令」、「補任」、「典例儀式」の3つ、⑩の教育では「心学」、「教訓」、「往来物・教科書」の3つ、⑪の理学では、「暦」、「和算」、「珠算・数学」の3つ、⑭の諸芸では、「茶道」、「作庭」、「華道」、「占卜」、「遊技」の5つ、⑮の武芸では、「武具」、「馬術」の2つの小項目をさらに設けた。

以下では、これまでに触れなかった主な文書について述べることにする。

##### (1) 近世・近代

① 支配 「広島家中居宅イロ八付」〔230〕は、文政13年(1830)当時の広島城下家中居宅の位置を、たとえば「石津来蔵 上柳町渡場小路下へ四」というように、イロ八順で794名にわたって記している。ただ「シ」以下が欠落しているのが惜まれる。

② 町村 「村況」は、文化11年(1814)、『芸藩通志』編纂のため作成を命じられた海田市「国郡志御編集二付下弾書出帳」の写しの一点のみである。この海田市「国郡志」は文化11年にいったん安芸郡の国郡志御用係に提出されたが、その後、付箋などが添付されて多数の項目にわたる指摘が

行われ、追補・改定が命じられた。この千葉家本は、加筆訂正され提出されたものの写しであると考えられ、指摘につづいて加筆訂正分が記されている。なお、『海田町史』資料編に収録されている熊野神社本は、文政7年(1824)になって最終的な訂正が行われて提出されたものの写しである。「町役」には、海田市年寄となった6代兵左衛門が、町政の参考のため作成した扣帳〔419〕、役録〔271〕や、8代八郎太の年寄申渡書〔503〕などがある。「出役」は、年寄見習7代孝一郎が命じられた豊田郡大崎東野村争論の出役に関する記録〔265〕である。

③ 交通・運輸 「天下送り・村送り役」には、天下送りの遞送の控である元禄5年(1692)「御公儀御送物数時付帖」〔220〕、正徳6年(1716)・享保4年(1719)「天下送り物数時付之帳」〔221・222〕、元文5年(1740)の以降宿送りについても併せて記した「天下送并御国宿送御往来之時刻諸扣帳」〔223〕など全23冊を収録した。

④ 金融 「頼母子講」に関する文書である。頼母子はある特定の人物・団体を救済する目的で組織された互助的な金融組織である。頼母子では相当広範囲な地域から加入者を募集している。天保3年に船越村灘屋吉五郎が企てた因頼母子では、安芸郡の村々に限らず、広島や佐伯郡の有力な125家に加入を呼び掛けていることがわかる〔408〕

⑤ 裁判 船越村と海田市は長年にわたって船越村鴻治・松石新開の帰属をめぐる争いを繰り返した。〔499〕は、船越側が瀬野川の水を引用するため樋門から板橋まで浚渫しようとしたところ、海田市側がそれを妨害した事件を船越村が訴えた事件の控訴状で、明治26年(1893)9月18日に第一審の判決が行われたが、原告の船越村側がその費用負担の判決を不服として控訴した。

⑥ 千葉家 近世・近代文書では最も点数が多い。この中には分家の東神保屋・中神保屋などの文書もあるが、とくに項目は立てなかった。

「救恤」に収録した文政5年(1822)と天保4年(1833)の「天下送宿送相勤候年限、村内極難渋者へ施遣入、東照宮様御祭礼神馬一件」〔244・245・248〕は、歴代天下送り役を勤めてきた千葉家が、それまでの功績をまとめたもので、天下送り・宿送りの度数、村内難渋者に対する救済、そして、文化12年(1815)に60年ぶりに行われた広島東照宮の大御祭礼(通り御祭礼)の際に、藩の求めに応じて千葉家から差し上げた神馬(月毛)を、その後藩の内意によつての牧場であった情島(現呉市阿賀町)へ種馬として放した一件について記している。

「紀行・日記」に収録した天保9年(1838)の4冊からなる「道中安楽記」〔371〕は、本家相続前であった東神保屋八郎太と中神保屋恭平が161日間かけて奥州松島まで旅行した旅日記であり、天保飢饉もまだ醒めやらぬ騒然とした社会情勢の中を、名所・旧跡の見物など気ままな旅の生活を送っている。

## (2) 典籍

全1,018点に及ぶ書籍は、元禄3年(1690)刊の「令義解」から明治末の刊本までと時代的にも幅広く、また、その内容も、四書五経など儒学の經典類から読本類、囲碁・将棋までと実に多彩である。これら千葉家で収集した典籍は、江戸時代の在町の町人の教養・思想を研究する上での指針となる。

これらは13個のけんどん慳貪〔207～219〕と、紐で括られ段ボール1箱などに入れられていた。慳貪〔207〕には「北流謡本」〔213〕には「増続大広益会玉篇」と墨書した紙が貼られ、実際に中身と一致していた。番号は、慳貪に入れられた典籍についてはその慳貪ごとに与え、必要に応じてさらに棚ごと、典籍のまとまりごとに枝番号をつけた。

このなかで、まず目につくのは54冊を数える四書五経の儒学関連の典籍で、千葉家の歴代が儒学の素養を身につけていたことがうかがえる。これらをどのように学んだか、残念ながらほかに資料がないため不明である。

次に注目できるのは教養・娯楽関連の典籍である。なかでも235冊に及ぶ「真書太閤記」「太閤真蹟記」〔41・42・57・204・206〕は年代、筆者が不明であるが、大坂の貸本屋から筆写したものである。このほかにも「太平朝日軍記」「三老仙台萩」「厭妖太平楽記」など多くの写本が残っている。また、79冊に及ぶ「諸記貫写集」も誰の筆によるものか不明であるが、これらは、千葉家では

軍記物に対して深い関心を寄せていたことを物語っている。

次に謡曲66冊と浄瑠璃脚本34冊である。謡曲は安永5年(1776)開板のものが中心であるが、寛文4年(1664)京都二条通上村次郎右衛門開板のものが1冊含まれている。千葉家では謡曲をたしなみ、浄瑠璃を観ることを楽しみにしていたものであろう。

教育関係では14冊残る江戸時代の往来物が目立ち、とくに女子教育に関するものが「女文通宝袋」「女書札文庫」「女訓玉文庫」など8冊あるのが特徴である。同様に手習・手本類も66冊を数える。手習いの主が不明なものが多いが、古くは天明年間の清次郎のものから確認でき、女性の筆によるものも数点を確認できる。

なお、解説作成にあたっては、株式会社千葉物流倉庫の中山喬雄氏からご教示をいただいた。また、本文書群の第一次整理と解説3(1)の執筆は松井輝昭が当たった。

#### 参考文献

『海田町史』資料編(1981年)・通史編(1986年)、『広島県の地名』(平凡社、1982年)、本多博之「豊臣期筑前国における支配の構造と展開」(『九州史学』第108号、1993年12月)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
10	古文書七通(古文書入れ袋) 1~5・7・8を入れるために明治25年ごろに作成された袋		広島県安芸郡海田市町持主 千葉鉄之助	袋	1袋
1	大内義興袖判下文 32.7×47.1	永正6.8.13	神保新右衛門尉信胤	縦紙	1通
2	神保房胤合戦手負注文 17.5×50.3, 袖に大内義隆の証判あり	天文6.5.3	神保房胤 弘中々務丞(隆兼)殿	切紙	1通
3	小早川隆景感状写 17.0×37.1	天文24.10.21	神保五郎殿	切紙	1通
6	豊臣秀吉朱印状 14.6×29.0	文禄2.6.29	ふか江	縦切紙	1通
7	ケ条(小早川隆景条々) 31.4×171.1	(文禄4).4.25	宗新左(宗近新左衛門尉長勝)外2名	縦継紙	1通
9	毛利輝元書状 15.8×31.2	.正.29	神保源右衛門尉殿	切紙	1通
4	小早川氏奉行人連署捺文 27.4×40.1, 端裏に捺封ウ八書あり	.2.10	井上又右衛門尉春忠・磯兼左近大夫景道 神保五郎殿	縦紙	1通
5	小早川氏奉行人連署捺文 28.1×45.2, 端裏に捺封ウ八書あり	.9.22	井上又右衛門尉春忠・磯兼左近大夫景道 兵部丞(乃美宗勝)殿	縦紙	1通
8	小早川隆景書状 31.5×46.6, 端裏に捺封ウ八書あり	.12.16	神源右(神保源右衛門尉)外1名	折紙	1通

## 2 近世・近代

### (1) 支配

#### 広島藩・浅野家

273	大坂御陳(陣)御備書付	元禄7.		縦継紙	1通
280	[広島藩家中居宅イロ八付]	(文政13.7頃)		横半	1冊
105	広島御侍覚書	正徳3.	泰重	縦冊	1冊
281	[松平安芸守屋敷へ末姫君御引移一件留書]	天保4.		横長	1冊

#### 東照宮祭礼

243	東照宮御祭礼御迎榊渡御還御御行列并達書写	明和2.9.		横長	1冊
240	御迎榊御行列	文化12.9.		横半	1冊
245	天下送り・宿送り度数之儀 村内極難渋者江施遣又度数 東照宮祭礼神馬一件覚共申上書抜帳	文政5.2.	安芸郡海田市神保屋清次郎	縦冊	1冊
244	天下送宿相勤候年限 村内極難渋者へ施遣又 東照宮様御祭礼神馬一件共申上儿頭書帖	天保4.4.	安芸郡海田市神保屋兵左衛門	縦冊	1冊
248	天下送宿相勤候年限 村内難渋者江施遣又 東照宮様御祭礼神馬一件共申上儿頭書帖	天保4.4.	安芸郡海田市神保屋兵左衛門	縦冊	1冊

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
触・達					
278	寛政元酉年被仰出候御儉約筋要旨之廉々写	天保4.2.	(神保氏)	豎冊	1冊
279	御儉約触両通写 但去辰暮之分并当二月出之分共	天保4.4.		豎冊	1冊
277	御条目写(徒党・強訴禁令外)	天保5.5.下旬		豎冊	1冊
(2) 町村					
村況					
440	国郡志御編集二付下弾書出帳(海田市)	文化11.12.	神保氏	豎冊	1冊
町役					
500	御役儀相続之儀御尋二付申上ル書付ひかへ 安芸郡海田市 弘化4.4.18写	丑(寛政5)5.27	年寄平三外1名・庄屋利三郎外4名 割庄屋中野村清左衛門殿	切継紙	1通
419	宗旨方諸事扣帳(安芸郡海田市)	文政8.4.		豎冊	1冊
271	役録 外見申ましく候	天保3.6.		横半	1冊
501	申渡(海田市年寄役見習申付)	寅(天保13)10.3	奥田外之助・寺西直人・中野甚之進 海田市宿送り八郎太	切継紙	1通
503	申渡(海田市年寄本役申付)	寅(安政元)12.朔	佐藤権六・熊谷文之進・野田七郎右衛門 海田市年寄見習八郎太	切継紙	1通
504	態申遣入(先年寄八郎太弟友太郎・同人悻雄之助引纏郡役所へ出頭申達書)	卯(慶応3)10.13	安芸郡御役所 庄屋正三郎・同原三郎・与頭共	切継紙	1通
563	[海田市中組・上組等名簿]	(近世)		横長	1冊
567/3	○[海田市年寄辞令]	辛未(明治4)11.12	安芸郡社倉支配役同格海田市千葉雄之助	切紙	(1通)
出役					
265	豊田郡大崎東野村不人機一件於御吟味屋敷御吟味役出	天保6.7.	(出役孝一郎・清八)	横半	1冊
(3) 交通・運輸					
天下送り・宿送り役					
複製資料	覚(天下送り・宿送りの定め)	元禄8.極.15	須田金右衛門外1名 宿送弥五介・庄屋次郎左衛門・年寄為三郎	豎継紙	1通
502	申渡入(海田市宿送申付)	子(天保11)2.朔	大藤源七郎外2名 海田市先年寄兵左衛門二男八郎太	切継紙	1通
220	御公儀御送物数時付帖	元禄5.正.吉		豎冊	1冊
221	天下送り物数時付之帳	正徳6.正.吉	神保弥五助	豎冊	1冊
222	天下送り物数時付之帳	享保4.正.吉	神保弥五助	豎冊	1冊
223	天下送并御国宿送御往来之時刻諸扣帳	元文5.正.吉	芸州海田市神保弥五助	豎冊	1冊
224	天下送并御国宿送御往來諸扣帳	延享3.正.吉	海田市神保弥五助	豎冊	1冊
225	天下送并御国宿送御往來諸扣帳	寛延2.正.吉	海田市神保弥五助	豎冊	1冊

番号	表題	年代	作成	形態	数量
226	天下送并御国宿送御往来諸扣帖	宝曆6.正.吉	海田市神保弥五助	豎冊	1冊
247	江戸 <sup>方</sup> 御奉書御下り海田市仕構格式	天明7.12.18	海田市年寄平三・同弥五助・同庄屋利三郎・同彦六 安芸郡御役所	豎冊	1冊
227	天下送并御国宿送御往来諸扣帳	寛政3.正.吉	海田市神保弥五助	豎冊	1冊
228	天下送并御国宿送御往来諸扣帳	享和4.正.吉	神保弥五助	豎冊	1冊
229	天下送并御国宿送御往来諸扣帳	文化3.正.吉	神保弥五助	豎冊	1冊
230	天下送并御国宿送御往来諸扣帳	文政2.正.吉	神保清次郎信胤	豎冊	1冊
245	天下送り・宿送り度数之儀 村内極難渋者江施遣又度数 東照宮御祭礼神馬一件覚共申上書抜帳	文政5.2.	安芸郡海田市神保屋清次郎	豎冊	1冊
244	天下送宿相勤候年限 村内極難渋者へ施遣又 東照宮様御祭礼神馬一件共申上儿頭書帖	天保4.4.	安芸郡海田市神保屋兵左衛門	豎冊	1冊
248	天下送宿相勤候年限 村内極難渋者江施遣又 東照宮様御祭礼神馬一件共申上儿頭書帖	天保4.4.	安芸国海田市神保屋兵左衛門	豎冊	1冊
231	天下送並御国宿送御往来諸扣帳	天保5.正.吉	神保兵左衛門永胤	豎冊	1冊
232	天下送並御国御用宿送御往来扣帖	弘化2.正.吉	神保屋八郎太	豎冊	1冊
233	天下送[並]御国御用宿送[御往来]扣帖 表紙破損	嘉永5.正.	神保屋八郎太	豎冊	1冊
234	天下送并御国御用宿送[御往来]扣帖	安政7.正.吉	神保屋八郎太	豎冊	1冊
235	天下送并御国御用宿送御往来扣帖	万延2.正.吉	神保屋八郎太	豎冊	1冊
236	天下送並御国御用宿送御往来扣帖	文久2.正.吉	神保屋八郎太	豎冊	1冊
237	天下送並御国御用宿送御往来扣帖	元治2.正.吉	神保屋八郎太	豎冊	1冊
238	天下送並御国御用宿送御往来扣帖	慶応2.正.吉	神保屋八郎太	豎冊	1冊
275	江戸御屋鋪御類焼二付為御見舞御奉書御下り海田市仕構格式覚書	寛政6.1.25		豎冊	1冊
276	從江戸宿継之御奉書御下り之節取計頭書	文化10.12.		豎冊	1冊
274	御拝領之御鶴御下覚書	弘化3.3.		豎冊	1冊
272	御拝領之御鶴御下覚書	嘉永5.2.		豎冊	1冊
364	覚(御状箱等送り書)	未.2.23	上瀬野村兵三郎 海田市八郎太殿	切紙	1通
363	覚(御状箱等送り書)	亥.5.朔	上瀬野村兵三郎 海田市八郎太殿	切紙	1通
587	天下送(渋紙装)三十八			袋	1袋
複製資料	天下送り(渋紙装)六番			袋	1袋
複製資料	天下送(渋紙装)拾五番			袋	1袋
複製資料	天下送(渋紙装)三十二			袋	1袋
複製資料	天下送(渋紙装)			袋	1袋
	御用物(渋紙装)二番			袋	1袋
	御用物(渋紙装)五拾四番			袋	1袋
宿駅					
複製資料	御通行休泊扣帖	天保8.正.		横半	1冊

番号	表題	年代	作成	形態	数量
241	竹之御丸御幼君様方先年度々御昼御膳所被為仰付并御献上物扣帖写し	安政7.3.	(神保屋清次郎)	横長	1冊
239	殿様御逝去取計方之趣頭書	文政13.11.21		竖冊	1冊
242	御入国江戸御当日并上下御入国御行列附写			横長	1冊

## (4) 金融

88	頼母子掛銀扣帳	文化3.2.		横長	1冊
466	互借会仕法帖	文政7.3.		竖冊	1冊
315	覚(互貸講の引当として田畠1町5反氏神へ寄進二付書入証文)	文政10.2.3	神保屋清次郎 互貸講惣連中 奥書庄屋新太郎外1名・与頭源次郎外2名 互貸講惣連中	竖継紙	1通
356/15	○覚(舞殿建替寄進銀不足二付互貸講の引当として田畠1町5反村役人連判借用証文)	文政10.2.	年寄利三郎・清次郎外15名 神保屋貞次郎殿	竖継紙	(1通)
408	因頼母子帳 式拾六番	天保13.11.吉祥	会主灘屋吉五郎	竖冊	1冊
409	頼母子加入取次人別扣帖	天保15.10.~	神保屋	横半	1冊
322	請合証文之事(府中村山崎屋健十郎企ての頼母子締合請合証文)	弘化4.2.5	島屋平次郎 御加入海田市御連中様	竖紙	1通
356/8	○因金講返掛引当金預証文之事 預かり金100両	弘化4.霜.	預り主神保屋八郎太・加印神保屋寿平 因金講御連中 奥書庄屋彦次郎外1名・与頭恭平 因金講御連中	竖継紙	(1通)
465	因金講法則並連中人名帖	弘化4.11.	(会主猫屋彦次郎)	竖冊	1冊
464	因金講法則並連中人名帖	嘉永4.10.	(会主神保屋友太郎)	竖冊	1冊
411	奥田屋金講六番会掛銀当分預帳	嘉永6.10.		横半	1冊
412	奥田屋金講八番会掛銀当分預帳	安政2.10.		横半	1冊
388	奥田屋恒三郎殿病中諸入用割賦出銀帖	安政3.5.~		横長	1冊
413	奥田屋金講拾番会掛金当分預并落札金人別江渡シ帖	安政4.10.		横半	1冊

## (5) 裁判

499	水利妨害排除事件広島地方裁判所ノ判決二対スル扣訴状(船越村鴻治・松石新開二瀬野川ノ水ヲ引用スル一件・九月廿八日判決書とモ)	明治26.10.30	扣訴訟代理人森田卓爾・扣訴訟人三沢繁太郎・同宮本健次郎 広島扣訴院民事部御中	綴	1綴
-----	---	------------	--	---	----

## (6) 千葉家

## 土地

267	芸備広島御領内郡中村数高附帖	享保21.2.上旬	安芸郡海田市神保弥五助栄胤写	横長	1冊
460	屋舗・田畠讓扣帳	明和6.5.	神保氏	竖冊	1冊
468	古地新開屋舗田畠高帳	寛政10.5.	神保弥五助親胤	竖冊	1冊
467	古地新開畝高寄帖	文政11.正.	海田市神保屋清次郎 栗田屋伝右衛門殿 奥書年寄同格庄屋新太郎外4名 栗田屋伝右衛門殿	竖冊	1冊



番号	表題	年代	作成	形態	数量
461	掛持家屋舗畝高并諸建物不残質入証文 老冊	文政12.正.	安芸郡海田市神保屋清次郎・東神保屋弥三郎・中神保屋寿平・肥後屋清八 銀主賀茂郡広村長浜兼屋三右衛門殿	豎冊	1冊
353/1	○覚(新開西二割等当時作人書抜目録)	天保10.12.	神保屋八郎太 新宅屋惣次郎殿	豎継紙	(1通)
305	覚(新開西三割当時作人書抜目録)	天保11.11.	神保屋八郎太 新宅屋惣次郎殿	豎紙	1通
314	覚(新開西式割等当時作人書抜目録)	天保11.12.	神保屋八郎太 新宅屋惣次郎殿	豎継紙	1通
268	地所売却控帳	明治3.5.		横長	1冊
462	古地・新開屋舗田畝畝高帖	明治4.5.	千葉雄之助斎胤	豎冊	1冊
382	鴻治新開之内預規定書一札(新開田畝の地普請金受取)	明治7.4.	浜崎清八外18名・証人瀬尾兵次郎 千葉雄之助殿	豎継紙	1通
357	{千葉氏所有地目録} 海田市・船越村・奥海田市	(明治)		横長	1冊
266	宅地古地新開新田鴻治新田丈量分別扣帳(千葉持分)	明治10.12.写		横半	1冊
269	段別地価地租一覽表(千葉雄之助所有)	明治24.1.		豎冊	1冊
租税					
102	租税上納簿	明治42.1.~	千葉本家	豎冊	1冊
494	{財産税課税価格等申告書外綴}	(明治22.2)	千葉利之助 呉稅務署長殿	綴	1綴
496	歎願書(倉庫業所得二対スル増加所得税免除願控)	昭和22.5.	千葉利之助 呉稅務署長殿	綴	1綴
家計					
463	旧記(御用銀差上覚・寄進控・年中家内入用外)	(宝曆~天保)		豎冊	1冊
588	万覚帖	天保10.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
589	万覚帖	天保15.正.	神保屋八郎太	横半	1冊
590	万覚帖	天保15.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
591	万覚帖	弘化2.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
592	万覚帖	弘化4.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
593	万覚帖	弘化5.正.吉	神保屋友太郎	横半	1冊
594	万覚帖	嘉永3.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
595	万覚帖	嘉永6.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
596	万覚(帖)	庚申(安政7).正.	神保屋八郎太	横半	1冊
597	万覚帖	文久2.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
598	万覚帖	文久3.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
599	万覚帖	元治2.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
600	{万覚帖} 前欠	(辰.12~)	神保屋八郎太	横半	1冊
601	{万覚帖} 前欠	(亥.12~)	神保屋八郎太	横半	1冊
612	御年貢・家賃控帳	明治3.正.吉	神保屋雄之助	横半	1冊
613	{御年貢控帳} 前後欠	(明治7頃カ)		横半	1冊

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
614	御年貢・家賃扣帳	明治9.1.吉		横半	1冊
615	御年貢・家賃取立控帳	明治10.1.吉	千葉雄之助	横半	1冊
616	御年貢・家賃取立帳	明治13.1.吉	千葉雄之助	横半	1冊
620	当座(帳)	明治12.1.吉	千葉雄之助	横半	1冊
621	{当座帳} 前欠	(明治14)	千葉雄之助	横半	1冊
382	万買物帳	宝暦8.霜.13		横長	1冊
602	万買物扣帖	天保10.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
603	万買物扣帖	天保13.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
604	万買物扣帖	弘化2.正.吉		横半	1冊
605	万買物扣帖	嘉永3.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
606	万買物扣帖	嘉永5.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
607	万買物扣帖	文久2.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
608	{万買物扣帖} 前欠		神保屋八郎太	横半	1冊
609	{万買物扣帖}		神保屋八郎太	横半	1冊
611	耕作仕入・諸買物控帳	明治6.1.吉	神保屋雄之助	横半	1冊
406	不埒者並年賦人別扣帳	文化3.2.吉	神保屋清次郎信胤	横長	1冊
416	年々不埒人別書出帳	(文化頃)	向神保屋	横長	1冊
418	鎮魂祭御祈禱入用帳	文化6.2.28~3.4		横長	1冊
407	年賦帖 下組	文政12.5.		横半	1冊
617	金銀出入帖	嘉永2.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
410	金銀出入帖	嘉永5.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
618	金銀出入帖	明治11.2.吉	千葉雄之助	横半	1冊
538	覚(火はち代受取)	(近世)	上神源助 神保屋	切継紙	1通
391	古道具売払記 但シ本千葉分	明治11.9.		横長	1冊
392	古道具売払記 但シ東千葉分	明治11.9.		横長	1冊
374	古道具売却算用帖 明治十六年実施	明治17.2.	中千葉本家	横長	1冊
375	古道具売払帳 壱号	明治19.3.		横長	1冊
365	仕法二付諸事日記	明治16.旧11.		横長	1冊
373	諸品売払日記 第壱号~第五号	明治16.旧11.10		綴	1綴
393	諸品売払物根元帖	明治16.12.		横長	1冊
394	諸品売払書抜簿	明治16.12.		横長	1冊
395	諸品売払簿	明治16.12.		横長	1冊
396	毎日桑目方日記	明治23.4.	千葉姓	横半	1冊
396	毎日桑目方日記	明治23.4.	千葉姓	横半	1冊
384	買物代価受取通	明治24.12.~	金丸清助 本千葉様	横半	1冊
564	{諸入費内訳・資産計算書綴}	明治27~29		綴	1綴
397	児玉榷学費日記	明治30.6~		横半	1冊
400	児玉小作米扣帳	明治32.11.		横半	1冊
414	加藤マサル所有財産整理簿	明治33.12.20	加藤マサル後見人千葉鉄之助	横半	1冊
90	経費計算表	明治34~37年度	本千葉	竖冊	1冊
91	金穀貸附帳	大正5.1.	千葉本家	横半	1冊

番号	表題	年代	作成	形態	数量
570	家庭用動産調査資料(郵送控)	. 5 .25	安芸郡海田市町千葉利之助	豎冊	1冊
417	〔買主方藤原殿約々外〕	(近代)		横長	1冊
寄進					
262	奉寄進石鳥井諸入用帳	天明7.9.	神保屋	横長	1冊
369	石燈籠調之刻毎日入用帳	文政8.7.		横長	1冊
420	出雲杵築神拝殿再興寄進帳 中野村・畑賀村・奥海田村・矢野村・坂村・大屋村・吉浦		千葉清足	豎冊	1冊
普請					
246	座敷普請諸入用帖	安永3.4.	神保屋	横長	1冊
270	〔貸家棟上賃渡し方日記〕	(明治)		横長	1冊
398	本宅修繕入費帖 下書	明治32.10.~		横半	1冊
399	本宅修繕入費帳	明治32.10.~		横半	1冊
土地購入					
355	〔寛政年間田畠売渡し証文〕 4通一括	(寛政12~13)		括	1括 (4通)
355/2	○永代売渡し申畠之事 畠6畝9歩,代銀850文	寛政12.12.	猪屋孫三郎 神保屋弥五助殿 裏書庄屋勝助外1名・組頭東一郎 弥五助殿	豎切紙	(1通)
355/4	○永代売渡し申畠之事 畠2反7畝,代銀3貫388匁	寛政12.10.7	売主(保代屋)弥三郎 神保屋弥五助殿 裏書庄屋勝助外1名・組頭東一郎 弥五助殿	豎継紙	(1通)
355/1	○永代売渡し申畠之事 畠4畝,代銀260目	寛政13.2.9	かに原庄右衛門 弥五助殿 裏書庄屋勝助外1名・組頭儀助 弥五助殿	豎切紙	(1通)
355/3	○永代売渡し申田畠之事 田畠1反15歩,代銀686匁	寛政13.3.5	矢野村善四郎 神保屋弥五助殿 裏書庄屋勝助外1名・組頭源蔵 弥五助殿	豎継紙	(1通)
347	売渡し申畠之事	万延元.極.27	市長吉 神保屋太兵衛殿 奥書与頭孫右衛門外1名 当分庄屋野村孫兵衛殿・庄屋元四郎殿/裏書 太兵衛殿	豎継紙	1通
352	売渡し申田地之事	文久元.12.6	国のぶ作兵衛・証人2名 神保屋兵左衛門殿 奥書庄屋格与頭民次郎・与頭孫右衛門・給与頭文助 当分庄屋野村孫兵衛殿・庄屋元四郎殿/裏書 兵左衛門殿	豎継紙	1通
土地売却					
331	永代売渡し申田畠之事 田畠25町6反5畝9歩,代銀140貫目,裏印抹消	文政12.11.	神保屋兵左衛門 栗田屋伝右衛門殿 奥書年寄同格庄屋新太郎外1名・庄屋格与頭源次郎外2名 栗田屋伝右衛門殿/裏書割庄屋中野村野村孫兵衛外2名	豎継紙	1通
324	覚(永代田畠売渡し証文) 面積・代銀140貫目	文政12.11.	神保屋兵左衛門 年寄同格庄屋新太郎殿外1名・庄屋格与頭源次郎殿外2名	豎継紙	1通
311	覚(文吉分屋敷売渡し証文) 代銀1貫400目,全文抹消	天保2.6.4	神保屋兵左衛門 金屋十三郎殿	豎切紙	1通

番号	表題	年代	作成	形態	数量
296	永代売渡申家屋敷之事 家屋敷9畝12歩,代銀15貫目	天保5.11.	神保屋兵左衛門 栗田屋伝 右衛門殿 奥書庄屋東一郎 外1名・組頭佐太郎外1名 伝右衛門殿	豎継紙	1通
354	永代売渡申家屋敷之事 代銀9貫目,括あり	天保6.11.	神保屋兵左衛門 新宅屋惣 次郎殿 奥書庄屋東一郎外 1名・与頭永次郎 惣次郎 殿	豎継紙	1通
335	覚(永代屋敷田畠売渡証文) 代銀9貫目	天保6.11.	神保屋兵左衛門 庄屋東一 郎殿外1名・与頭永次郎殿	豎継紙	1通
356	〔永代畠売渡証文外一括〕 2括34通一括	(文政10~文久2)		括	1括 (2括, 34通)
356/15	○覚(舞殿建替寄進銀不足二付互 代講の引当として田畠1町5反 村役人連判借用証文)	文政10.2.	年寄利三郎・清次郎外15名 神保屋貞次郎殿	豎継紙	(1通)
356/14	○覚(永代田畠売渡証文) 田畠12町6反5畝9歩,代銀152貫目	天保6.11.	神保屋兵左衛門 庄屋東一 郎殿外1名・与頭佐太郎殿 外1名	豎継紙	(1通)
356/19	○永代売渡申田畠之事 田畠25町6反5畝9歩,代銀152貫目	天保6.11.	神保屋兵左衛門 栗田屋伝 右衛門殿 奥書庄屋東一郎 外1名・組頭佐太郎外1名 栗田屋伝右衛門殿/裏書割 庄屋上瀬野村野村孫兵衛外 2名	豎継紙	(1通)
356/20	○覚(借銀証文) 銀札150貫目	天保6.11.	神保屋兵左衛門 栗田屋伝 右衛門殿 奥書神保屋寿平 外1名 栗田屋伝右衛門殿	豎継紙	(1通)
356/1	○〔永代畠売渡証文〕 2通一括	(天保8.12.)		括	(1括)
356/1-1	○永代売渡申又畠之事 畠12町,代銀110貫目,奥印・裏印消印	天保8.極.	神保屋兵左衛門 栗田屋伝 右衛門殿 奥書庄屋東一郎 外1名・与頭佐太郎外1名 伝右衛門殿/裏書割庄屋中 野村太兵衛外2名	豎継紙	(1通)
356/1-2	○覚(永代畠売渡証文) 面積・代銀110貫目	天保8.極.	神保屋兵左衛門 庄屋東一 郎殿外1名・与頭永次郎殿	豎継紙	(1通)
356/13	○永代売渡申屋舗之事 屋敷9畝12歩,代銀15貫目,奥印消印	天保9.11.	神保屋兵左衛門 栗田屋伝 右衛門殿 奥書庄屋東一郎 外1名・与頭永次郎 伝右 衛門殿	豎継紙	(1通)
356/12	○覚(永代屋敷売渡証文) 屋敷9畝12歩,面積・代銀消印	天保9.11.	神保屋兵左衛門 庄屋東一 郎殿外1名・与頭永次郎殿	豎継紙	(1通)
356/5	○覚(借銀証文) 銀札15貫目,消印あり	天保10.5.5	神保屋兵左衛門・神保屋寿 平外1名 栗田屋長三郎殿	豎紙	(1通)
356/4	○覚(古証文認め替二付式拾四通 預り証文) 消印あり	天保10.10.7	神保屋兵左衛門・神保屋寿 平外1名 栗田屋伝右衛門 殿 奥書海田市用場 栗田 屋伝右衛門殿	豎紙	(1通)
356/36	○永代売渡田畠之事 田畠9畝3歩,代銀4貫550目	天保10.10.	神保屋兵左衛門 桶屋伴次 殿 奥書庄屋東一郎外1名・ 与頭永次郎 伴二殿	豎継紙	(1通)
356/35	○覚(永代田畠売渡証文) 同上	天保10.10.晦	神保屋兵左衛門 庄屋東一 郎殿外1名・与頭永次郎殿	豎継紙	(1通)
356/27	○覚(借銀証文) 銀札10貫目	天保12.10.13	神保屋八郎太・加印奥田屋 林次 成本屋新蔵殿	豎紙	(1通)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
356/6	○覚(借銀添証文) 銀札50貫目	天保13.5.5	神保屋八郎太 竹内伝右衛門殿	豎紙	(1通)
356/7	○永代売渡申家屋舗之事 屋敷9畝12歩,代銀30貫目	天保13.11.	神保屋八郎太 竹内伝右衛門殿 奥書庄屋彦次郎外1名・同格与頭清八 伝右衛門殿	豎紙	(1通)
356/2	○〔永代田畠売渡証文・借銀証文〕(天保13) 3通一括			括	(1括)
356/2-2	○覚(永代家屋敷売渡証文) 家屋敷9畝12歩,代銀30貫目	天保13.11.	神保屋八郎太 庄屋彦次郎殿外1名 同同格与頭清八殿	豎切紙	(1通)
356/2-3	○覚(借用証文) 銀札30貫目	天保13.11.	神保屋八郎太 竹内伝右衛門殿	豎切紙	(1通)
356/2-1	○覚(借用証文) 銀札15貫目	天保13.5.7	神保屋八郎太 竹内伝右衛門殿	豎切紙	(1通)
356/23	○覚(借銀添証文) 銀札100貫目	卯(天保14カ).11.23	神保屋八郎太 浜田屋藤吉殿	豎紙	(1通)
356/3	○永代売渡申田畠之事 田畠2町,代銀100貫目(金155両)	天保14.12.	神保屋八郎太 大崎屋七右衛門殿 奥書庄屋彦次郎外1名・同同格与頭清八 七右衛門殿	豎紙	(1通)
356/9	○覚(永代田畠売渡証文) 同上	天保14.12.	神保屋八郎太 庄屋彦次郎殿外1名・同同格与頭清八殿	豎紙	(1通)
356/10	○永代売渡申屋敷之事 屋敷9畝12歩,代銀30貫目	天保15.12.	神保屋八郎太 竹内伝右衛門殿 奥書庄屋彦次郎外1名・同同格与頭清八 伝右衛門殿	豎紙	(1通)
356/11	○覚(永代屋敷売渡証文) 屋敷9畝12歩,代銀30貫目	天保15.12.	神保屋八郎太 庄屋彦次郎殿外1名・同同格与頭清八殿	豎紙	(1通)
356/16	○永代売渡申田畠之事 田畠2町,代銀10貫400目	天保15.12.	神保屋八郎太 大崎屋七右衛門殿 奥書庄屋彦次郎外1名・同同格与頭清八 七右衛門殿	豎紙	(1通)
356/32	○覚(永代田畠売渡証文) 田畠2町,代銀10貫400目	天保15.12.	神保屋八郎太 庄屋彦次郎外1名・同同格与頭清八殿	豎紙	(1通)
356/31	○永代売渡田畠之事 田畠2町3反,代銀150貫目	天保15.12.	神保屋八郎太 浜田屋藤吉殿 奥書庄屋彦次郎外1名・同同格与頭清八 藤吉殿	豎紙	(1通)
356/34	○覚(永代田畠売渡証文) 田畠2町3反,代銀150貫目	天保15.12.	神保屋八郎太 庄屋彦次郎殿外1名・同同格与頭清八殿	豎紙	(1通)
356/21	○覚(預り手形) 銀札20貫目	天保15.12.15	神保屋八郎太 木屋茂助殿	豎紙	(1通)
356/28	○覚(借銀添証文) 銀札30貫目	天保15.12.	神保屋八郎太 竹内伝右衛門殿	豎紙	(1通)
356/29	○借用手形之事 銀札10貫目	弘化2.極.	神保屋八郎太 奥田屋林次殿	豎紙	(1通)
356/8	○因金講返掛引当預証文之事 預かり金100両	弘化4.霜.	預り主神保屋八郎太・加印神保屋寿平 因金講御連中 奥書庄屋彦次郎外1名・与頭恭平 因金講御連中	豎紙	(1通)
356/30	○借用手形之事 金30両	弘化5.5.9	神保屋八郎太 浜田屋藤吉殿	豎紙	(1通)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
356/22	○添証文之事(借金添証文) 正金250両	嘉永 6.9.5	借主神保屋清次郎・証人神保屋友太郎 銀主柴屋伊兵衛殿・取次木屋保次郎殿	豎紙	(1通)
356/25	○借用手形之事 金20両	安政 3.9.5	神保屋八郎太 木屋保次郎殿	豎切紙	(1通)
356/24	○借用手形之事 金60両	安政 3.11.5	神保屋八郎太 木屋保次郎殿	豎切紙	(1通)
356/26	○借用手形之事 講金之内金60両	安政 3.11.5	神保屋八郎太 木屋保次郎殿	豎切紙	(1通)
356/18	○借用手形之事 金30両	安政 3.11.7	神保屋八郎太 木屋保次郎殿	豎切紙	(1通)
356/17	○預り手形之事 金50両,全文抹消	文久 2.12.8	本神保屋 東新宅屋	豎紙	(1通)
356/33	○〔田畠永代売渡証文雛形〕			豎継紙	(1通)
285	永代売渡し申畑之事 畠9畝12歩,代銀1貫598匁	天保 7.11.	神保屋兵左衛門 (宛てなし)	豎継紙	1通
286	覚(永代畠売渡証文) 畠9畝12歩,代銀1貫598匁	天保 7.11.	神保屋兵左衛門 庄屋東一郎殿外1名・与頭永次郎殿	豎継紙	1通
284	永代売渡申畠之事 畠9町8反,代銀70貫目,奥印抹消	天保 7.12.5	神保屋兵左衛門 伊予屋甚右衛門殿 奥書庄屋東一郎外1名・与頭永次郎 甚右衛門殿	豎継紙	1通
283	覚(永代田畠売渡証文案) 畠9町8反,代銀70貫目	天保 7.12.5	神保屋兵左衛門 庄屋東一郎殿外1名・与頭永次郎殿	豎継紙	1通
295	永代売渡申畠之事(証文控) 畠9町8反,代銀70貫目	天保 7.12.5	神保屋兵左衛門 伊予屋甚右衛門殿	豎継紙	1通
287	覚(永代畠売渡証文) 畠9町8反,代銀70貫目	天保 7.12.5	神保屋兵左衛門 庄屋東一郎殿外1名・与頭永次郎殿	豎継紙	1通
294	覚(永代畠売渡証文控) 畠9町8反,代銀70貫目	天保 7.12.5	神保屋兵左衛門 庄屋東一郎殿外1名・与頭永次郎殿	豎継紙	1通
307	覚(永代田畠売渡証文) 田畠2町5反6歩,代銀20貫目	天保 7.12.	神保屋兵左衛門 庄屋東一郎殿外1名・与頭永次郎殿	豎継紙	1通
293	覚(永代家屋敷売渡証文) 田畠2町5反6歩,代銀20貫目	天保 9.11.	神保屋兵左衛門 庄屋東一郎殿外1名・与頭佐太郎殿外1名	豎継紙	1通
297	永代売渡申畠之事 畠12町,代銀10貫目,奥印・裏印抹消	天保 9.11.	神保屋兵左衛門 栗田屋伝右衛門殿 奥書庄屋東一郎外1名・与頭佐太郎外1名 伝右衛門殿/裏書割庄屋中野村太兵衛外2名/裏奥書割庄屋同格太郎兵衛 神保屋五郎太様	豎継紙	1通
292	覚(永代畠売渡証文) 畠12町,	天保 9.11.	神保屋兵左衛門 庄屋東一郎殿外1名・与頭佐太郎殿外1名	豎継紙	1通
353	〔永代田畠売渡証文〕	(天保10.12)		括	1括 (3通)
353/3	○永代売渡田畠之事 田畠4町1反4畝18歩,代銀60貫目	天保10.12.	神保屋八郎太 新宅屋惣次郎殿 奥書庄屋東一郎外1名・与頭永次郎 惣次郎殿	豎継紙	(1通)
353/2	○覚(永代田畠売渡証文) 田畠4町1反4畝18歩,代銀60貫目	天保10.12.	神保屋八郎太 庄屋東一郎殿外1名・与頭永次郎殿	豎継紙	(1通)
353/1	○覚(新開西二割等当時作人書抜目録)	天保10.12	神保屋八郎太 新宅屋惣次郎殿	豎継紙	(1通)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
298	永代売渡申家屋鋪証文之事 屋敷9畝12歩,代銀15貫目	天保11.11	神保屋兵左衛門 栗田屋伝 右衛門殿 奥書庄屋彦次郎 外1名・同同格与頭清八 栗田屋伝右衛門殿	豎継紙	1通
306	覚(永代家屋敷売渡証文) 屋敷9畝12歩,代銀15貫目	天保11.11.	神保屋兵左衛門 庄屋彦次 郎殿外1名・同同格与頭清 八殿	豎紙	1通
305	覚(新開西三割当時作人書抜目録)	天保11.11.	神保屋八郎太 新宅屋惣次 郎殿	豎紙	1通
314	覚(新開西三割等当時作人書抜目 録)	天保11.12.	神保屋八郎太 新宅屋惣次 郎殿	豎継紙	1通
326	永代売渡申田畠之事 田畠1町6反8畝24歩,代銀50貫目	天保12.4.20	神保屋八郎太 栗田屋伝右 衛門殿 奥書庄屋彦次郎外 1名・同同格与頭清八 栗 田屋伝右衛門殿	豎継紙	1通
299	覚(永代田畠売渡証文) 田畠1町6反8畝24歩	天保12.4.20	神保屋八郎太 庄屋彦次郎 殿外1名・同同格与頭清八 殿	豎紙	1通
300	永代売渡申田畠之事 田畠1町8反9畝18歩,代銀60貫目	天保12.11.	神保屋八郎太 栗田屋伝右 衛門殿 奥書庄屋彦次郎外 1名・同同格与頭清八 栗 田屋伝兵衛殿	豎紙	1通
333	覚(永代田畠売渡証文) 田畠1町8反9畝18歩,代銀60貫目	天保12.11.	神保屋八郎太 庄屋彦次郎 殿外1名・同同格与頭清八 殿	豎紙	1通
323	永代売渡申家屋鋪之事 屋敷9畝12歩,代銀15貫目	天保12.11.	神保屋八郎太 栗田屋伝右 衛門殿 奥書庄屋彦次郎外 1名・同同格与頭清八 栗 田屋伝右衛門殿	豎紙	1通
312	覚(永代家屋敷売渡証文) 屋敷9畝12歩,代銀15貫目	天保12.11.	神保屋兵左衛門 庄屋彦次 郎殿外1名・同同格与頭清 八殿	豎紙	1通
325	永代売渡田畠之事 田畠1町,代銀40貫目	天保13.5.9	神保屋八郎太 大崎屋七左 衛門殿 奥書庄屋彦次郎外 1名・同同格与頭清八 七 左衛門殿	豎紙	1通
327	覚(永代田畠売渡証文) 田畠1町,代銀40貫目	天保13.5.9	神保屋八郎太 庄屋彦次郎 殿外1名・同同格与頭清八 殿	豎紙	1通
318	永代売渡田畠之事 田畠1町,代銀50貫目(正金75両)	天保13.11.	神保屋八郎太 大崎屋七郎 右衛門殿 奥書庄屋彦次郎 外1名・同同格与頭清八 七右衛門殿	豎継紙	1通
329	覚(永代田畠売渡証文) 田畠1町,代銀50貫目	天保13.11.	神保屋八郎太 庄屋彦次郎 殿外1名・同同格与頭清八 殿	豎紙	1通
338	永代売渡申田畠之事 田畠1町,代銀50貫目	天保13.12.	神保屋八郎太 大崎屋七右 衛門 奥書庄屋彦次郎外1 名・同同格与頭清八 七右 衛門殿	豎紙	1通
317	覚(永代田畠売渡証文) 田畠1町,代銀50貫目	天保13.12.	神保屋八郎太 庄屋彦次郎 殿外1名・同同格与頭清八 殿	豎紙	1通
334	永代売渡田畠之事 田畠1町6反,代銀80貫目	天保14.5.	神保屋八郎太 浜田屋藤吉 殿 奥書庄屋彦次郎外1名・ 同同格与頭清八 藤吉殿	豎継紙	1通

番号	表題	年代	作成	形態	数量
332	覚(永代田畠売渡証文) 田畠1町6反,代銀80貫目	天保14.5.	神保屋八郎太 庄屋彦次郎 殿外1名・同同格与頭清八 殿	豎紙	1通
336	永代売渡申田畠之事 田畠1町7反,代銀100貫目,奥印抹消	天保14.11.	神保屋八郎太 浜田屋藤吉 殿 奥書庄屋彦次郎外1名・ 同同格与頭清八 藤吉殿	豎継紙	1通
346	覚(永代田畠売渡証文) 田畠1町7反,代銀100貫目	天保14.11.	神保屋八郎太 庄屋彦次郎 殿外1名・同同格与頭清八 殿	豎紙	1通
304	永代売渡申畠之事 畠1町2反,代金100両	嘉永7.11.	神保屋清次郎 浜田屋藤吉 殿 奥書庄屋彦次郎・同同 格与頭孫太郎外1名・与頭 彦次郎外1名	豎紙	1通
301	覚(永代畠売渡証文) 畠1町2反,代金100両,端裏書「書替 清次郎方藤吉へ 入ル」	嘉永7.11.	神保屋清次郎 庄屋彦次郎 殿・同同格与頭孫太郎殿外 1名・与頭吉兵衛殿外1名	豎紙	1通
330	永代売渡申屋鋪田畠之事 屋敷田畠2町6反3畝27歩,代金500両	安政5.10.	神保屋清次郎 浜田屋藤吉 殿 奥書庄屋彦次郎外1名・ 同同格与頭孫太郎外1名・ 与頭吉兵衛外1名	豎継紙	1通
341	永代売渡し申畑之事 畑9歩,代金2両2歩2朱	万延元.5.	忠平 弥五郎殿 裏書割庄 屋格庄屋植木六右衛門・組 頭庄三郎外2名	豎切紙	1通
342	覚(永代田畠売渡証文) 田畠1町,代金100両,全文抹消	文久3.9.	神保屋清次郎 庄屋彦次郎 殿外1名・社倉支配役同格 与頭恭平殿・庄屋同格与頭 源次郎殿・与頭吉兵衛殿	豎継紙	1通
489	酒造御鑑札・家屋敷・田畠式通并 添証文書通扣帳	慶応元.6.	神保屋清次郎外 茶屋多郎 一殿	豎冊	1冊
救恤					
250	実山宗忠居士十三廻忌法事二付町 内難渋者人別江初遣又扣帖	天明5.2.15		横長	1冊
252	海田市小百姓浮過難渋者へ麦遣又 人別扣帖	天明7.3.	神保屋	横長	1冊
251	焼家人別江見舞米遣又帖	寛政2.7.16・18		横長	1冊
403	蚊帳人別江貸帖	寛政5.4.吉	神保屋弥五助	横長	1冊
404	〔蚊帳貸渡し帳綴〕 6冊合綴	(寛政5~8)		綴	1綴 (6冊)
404/1	○蚊帳貸渡し人別扣帖	寛政5.5.	神保屋	横長	(1冊)
404/2	○蚊人別貸渡帖	寛政5.5.	神保屋	横長	(1冊)
404/3	○蚊屋人別貸渡帖	寛政5.6.	神保屋	横長	(1冊)
404/4	○蚊帳貸渡取立帖	寛政6.6.吉	神保屋	横長	(1冊)
404/5	○蚊帳貸渡人別扣帳	寛政7.5.9	神保屋	横長	(1冊)
404/6	○蚊帳貸渡人別扣帳	寛政8.5.20	神保屋	横長	(1冊)
405	蚊帳貸人別扣帖	寛政9.5.吉		横長	1冊
253	町内難渋者人別江救麦遣帳	寛政12.4.28	神保屋	横長	1冊
254	町内難渋者江救麦遣人別帳	寛政13.2.15		横長	1冊
255	町中難渋者人別江救麦遣帳	享和2.4.15		横長	1冊
256	町中難渋者人別江救麦遣帳	文化元.4.吉	神保屋	横長	1冊
257	町内難渋者江救麦遣帳	文化6.2.20		横長	1冊
258	町内難渋者江救遣人別帳	文化11.4.		横長	1冊



番号	表題	年代	作成	形態	数量
260	市中難渋者江麦遣帳	文化14.3.朔	神保屋	横長	1冊
245	天下送り・宿送り度数之儀 村内極難渋者江施遣入度数 東照宮御祭礼神馬一件覚共申上書抜帳	文政5.2.	安芸郡海田市神保屋清次郎	竖冊	1冊
259	市中難渋者江救麦遣帖	文政12.正.21	神保屋	横長	1冊
261	市中難渋者江麦遣帖	天保2.正.17	神保屋	横長	1冊
244	天下送宿相勤候年限 村内極難渋者へ施遣入 東照宮様御祭礼神馬一件共申上儿頭書帖	天保4.4.	安芸郡海田市神保屋兵左衛門	竖冊	1冊
248	天下送宿相勤候年限 村内難渋者江施遣入 東照宮様御祭礼神馬一件共申上儿頭書帖	天保4.4.	安芸郡海田市神保屋兵左衛門	竖冊	1冊
249	町内難渋者へ施行振粉粥諸入用日記	天保8.正.		横半	1冊
505	〔已年凶作救済用途江献米等奇特二付褒書銀三拾五匁差遣〕	辛未(明治4).6.		切紙	1通
農業					
610	耕作仕入帖	弘化5.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
452	耕作仕入帖	文久2.正.吉	神保屋八郎太	横半	1冊
611	耕作仕入・諸買物控帳	明治6.1.吉	神保屋雄之助	横半	1冊
427	〔農業全書之内米豆両品抜写〕	(天保8.正.上旬)		竖冊	1冊
酒造					
429	寒造酒屋永代記伝			竖冊	1冊
348	酒造株証文之事 海田市百姓清次郎鑑札入質,正金100両	嘉永3.10.6	神保屋八郎太 木屋次郎殿	竖紙	1通
345	覚(本家神保屋酒造仕込金借用被候二付返弁方約束証文控)	文久元.10.	大浜屋清七 本新宅屋	竖紙	1通
490	酒造一条取交証文二通 2通入			包	1包 (2通)
490/1	○預り申酒造株証文之覚	慶応元.5.	茶屋多郎一 神保屋清次郎殿 奥書木村伊太郎外1名 神保屋清次郎殿	竖継紙	(1通)
490/2	○覚(役所金千両借用二付受証人連印添証文)	慶応元.6.	海田市神保屋清次郎・請人同新宅屋大次郎・証人同出雲屋久兵衛 茶屋多郎一殿	竖継紙	(1通)
469	酒造一条取交証文式通(控)	慶応元.5.	神保屋清次郎 茶屋多郎一外	竖冊	1冊
475	規定書之覚(酒造株預ヶ方規則)	丑(慶応元)閏5.	茶屋多郎一 神保屋清次郎殿	竖継紙	1通
481	覚(酒造鑑札預り証文)	慶応元.6.	茶屋多郎一 神保屋清次郎殿	竖紙	1通
489	酒造鑑札・家屋敷・田畠式通并添証文壹通扣帳	慶応元.6.	神保屋清次郎外 茶屋多郎一殿	竖冊	1冊
479	覚(酒造株料米四拾石増石二付連印証文)	慶応3.正.	富永源五郎・木村伊太郎・証人出雲屋久兵衛・同浜田屋藤吉 神保屋雄之助殿	竖継紙	1通
471	預ヶ申酒造株証文之覚 慶応元年閏5月付茶屋多郎一宛証文に貼紙	明治3.8.	神保屋清次郎・証人出雲屋久兵衛 三登屋八郎太殿	竖継紙	1通
472	預ヶ申酒造証文之覚	明治3.8.	神保屋清治郎・証人出雲屋久兵衛 三登屋八郎太殿	竖紙	1通

番号	表題	年代	作成	形態	数量
474	規定書之覚(酒造株預ケ方規則) 慶応元年閏5月付茶屋多郎一宛規定書に貼紙	明治3.8.	神保屋清次郎・証人出雲屋 久兵衛・三登屋八郎太殿	豎継紙	1通
473	規定書之覚(酒造株預ケ方規則)	明治3.8.	神保屋清治郎・証人出雲屋 久兵衛 三登屋八郎太殿	豎継紙	1通
476	規定書之覚(酒造株預ケ方規則)	明治3.8.	神保屋清次郎・証人出雲屋 久兵衛 三戸屋八郎太殿	豎継紙	1通
477	規定書之覚(酒造株預ケ方規則)	明治3.8.	神保屋清次郎・証人出雲屋 久兵衛 三戸屋八郎太殿	豎継紙	1通
470	規定書一通 2通入	(明治6)		包	1包 (2通)
470/1	○記(酒造規定書)	.3.25	酒造中	豎紙	(1通)
470/2	○記(過料銀取立定)	明治6.3.25	酒造中	切紙	(1通)
478	規定証書 年代・作成記載なし			豎継紙	1通
483	[未年分古酒壺~三ノ桶酒高] 4通			豎切紙	1通 (4通)
485	[式番・三番樽酒高] 2通			豎切紙	1通 (2通)
484	記(桶仕様書)	酉.5.4	本千葉	切紙	1通
480	記(千葉雄之助生酒造込桶寸法書)			豎紙	1通
482	記(千葉雄之助生酒造込桶寸法書)			豎紙	1通
486	[樽仕様書] 3通一括			括	1括 (3通)
487	[樽仕様書] 3通一括			括	1括 (3通)
488	[樽仕様書]			括	1括
材木業					
85	仕入帳	明治34.2.	千葉材木店	横半	1冊
92	仕入帳	明治35.2.	千葉材木店	豎冊	1冊
93	仕入帳	明治36.2.	千葉材木店	豎冊	1冊
94	仕入帳	明治37.2.~明治38	千葉材木店	豎冊	1冊
95	仕入帳	明治39.極.	千葉材木店	豎冊	1冊
96	仕入帳	明治41.4.	千葉材木店	豎冊	1冊
97	仕入帳	明治42.	千葉材木店	豎冊	1冊
98	[仕入帳外] 1冊2通一括	(明治43~44)		括	1括 (1冊,2通)
98/1	○仕入帳	明治43.	千葉材木店	豎冊	(1冊)
98/2	○[算用依頼状] 3枚	明治44.2.4	森谷商店 千葉様	罫紙	(1通)
98/3	○[餅取粉送状] 6通	明治43.9.1~ 明治44.1.11	備後松永町餅取粉発売元米 穀商并精米業森谷亀蔵 千 葉鉄之助様	葉書	(1通)
79	金入帳	明治35.2.	千葉材木店	横半	1冊
77	金入帳	明治39.1.	千葉材木店	横半	1冊
76	金銭出入帳	明治35.2.	千葉材木店	横半	1冊
78	金銭出入帳	明治36.2.	千葉材木店	横半	1冊

番号	表題	年代	作成	形態	数量
101	金銭出納簿	明治40年度	千葉材木店	豎冊	1冊
99	金銭出納帳	明治42年度	千葉材木店	豎冊	1冊
100	金銭出納帳	明治43年度	千葉材木店	豎冊	1冊
103	金銭出納簿	明治44.2.~4.	千葉材木店	豎冊	1冊
622	当座帳 第壹号	明治32.2.	千葉材木店	横半	1冊
84	当座帳 第貳号	明治36.2.	千葉材木店	横半	1冊
623	当座帳 壹号	明治38.2.	千葉材木店	横半	1冊
72	売払当座帳 壹号	明治39.2.	千葉材木店	横半	1冊
86	当座帳	明治42.2.	千葉材木店	横半	1冊
80	当座帳	明治43年度	千葉材木店	横半	1冊
492	当座帳	大正3.2.~	千葉材木店	横長	1冊
74	金銭判取帳	明治35.3.	千葉商店	横半	1冊
73	金銭判取帳	明治39.5.	千葉材木店	横半	1冊
83	材木売上日記	大正元.12.27	重太郎	横半	1冊
87	売上日記	大正2.2.	千葉材木店	横長	1冊
619	浜帳	大正4.5.1以降	千葉材木店	横半	1冊
104	商品貸付帳	明治41.2.	千葉材木店	豎冊	1冊
81	金貸付帳	明治36.2.	本千葉	横半	1冊
89	通帳(材木売却・山林見取・木挽見取・山出見取等に付) 第壹号	(年不詳)12.	海田市町千葉材木店	横半	1冊
82	仕入帳	明治36.5.	千松商会	横半	1冊
75	金銭出入帳	明治36.5.	千松柏商会	横半	1冊
土建業					
572	[千葉利之助元宇品海面埋立工事一件綴]	昭和2.12.~ 昭和4.12.		綴	1綴
571	[千葉利之助宇品港浚渫工事請負一件綴]	昭和3.12.~ 昭和4.12.		綴	1綴
573	保本政吉埋立工事請負二関スル契約書及領収書并二行重増工事領収書 昭和四年四月二十九日計算渡済			綴	1綴
495	第三工区埋立工事二関スル従業員出勤簿	昭和4.5.		豎冊	1冊
358	[人別金銭約綴]	(近代)		綴	1綴
家系・目録					
11	系図略写并古器物目録扣	文政2.5.	神保屋清次郎	豎冊	1冊
383	書画掛物帖	文政13.霜.		横半	1冊
12	器物図写控写			豎冊	1冊
498	古書籍類目録	(近代)		豎冊	1冊
家督					
415	覚(分家趣法書)	文政13.8.	本家神保屋兵左衛門 分家神保屋弥五三殿・友太郎殿	豎継紙	1通
372	家督相続方並形見分一件諸書類入 1冊3括3通入	天保10.正.吉	神保屋	袋	1袋 (1冊,3括,3通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
372/1	○証文(家督譲り状及び家督相続二付請書)	天保10.正.	神保屋母・立会親類6名 八郎太殿/八郎太・証人3名 神保屋御母上様・立会親類中様	豎冊	(1冊)
372/2	○覚(渡世難立行三ヶ年限り御仕向方二付証文) 包入,上書「証文東一通」	天保7.12.28	分家神保屋友太郎 本家神保屋兵左衛門殿・同孝一郎殿 奥書黒河玄璋外3名 神保屋兵左衛門殿・孝一郎殿	豎継紙	(1通)
372/3	○〔書状一括〕 4通一括			括	(1括)
372/3-1	○披露状下書(神保屋新亭主八郎太披露)	.2.6	猫屋新太郎 金屋外12名	切継紙	(1通)
372/3-2	○御屋敷方江文通草案		神保屋兵左衛門後家・親類 惣代海田市新太郎 何野何某様御支配人衆中様	切継紙	(1通)
372/3-3	○三宅氏文通扣(親類相談之上八郎太神保屋亭主に決定)	.2.6	神保屋栄・親類惣代加藤新太郎 三宅辰蔵様	切継紙	(1通)
372/3-4	○〔神保屋新亭主二付書状断簡〕			切継紙	(1通)
372/4	○〔陽徳院さま形見分け二付一札〕 2通,1通は断簡2枚	天保10.2.	東神保屋友太郎・お常・証人親類3名 神保屋御母上様・御親類中様	切継紙	(1通)
372/5	○〔神保屋新開・屋敷等入高目録〕			切継紙	(1通)
372/6	○〔断簡一括〕 5通一括			括	(1括)
372/6-1	○〔文化三・七屋敷畠帖切目録断簡〕			切継紙	(1通)
372/6-2	○某書翰別啓(神保屋姉不快)			切継紙	(1通)
372/6-3	○覚(作方・借銀方等算用)			切継紙	(1通)
372/6-4	○〔屋敷田畠分米等目録断簡〕			切紙	(1通)
372/6-5	○〔屋敷・畠目録断簡〕			折紙	(1通)
372/7	○〔田畠家質人別扣外一括〕 3冊一括			括	(1括)
372/7-1	○田畠家質人別扣			横長	(1冊)
372/7-2	○取替銀人別扣			横長	(1冊)
372/7-3	○立行諸入用作得帳			横長	(1冊)
褒賞					
509	〔割庄屋共発起候郡貯銀へ出銀奇特二付褒書 米三俵被下〕		海田市宿送り清次郎	切紙	1通
507	〔海田府中辺川筋堀浚入用基立として寸志金差出奇特二付褒書 銀拾七分被下〕		海田市年寄八郎太	切紙	1通
508	〔砲器御買入之筋金子差上候段奇特二付褒書〕		海田市先年寄八郎太倅雄之助	切紙	1通
506	〔海田市伝馬趣法基立寄附奇特二付褒書 銀五拾目被下〕	.3.21	社倉支配役同格海田市雄之助	切紙	1通
568	結構蒙仕候 包のみ	慶応3.10.25		包	1包
569	結構蒙仕候 包のみ	慶応3.12.23		包	1包

番号	表題	年代	作成	形態	数量
567	結構蒙仰候御紙上三通 3通入			包	1包 (3通)
567/1	○〔吉浦百姓多人数罷出候節駈引・ 心得方褒書〕		海田市年寄見習八郎太	切紙	(1通)
567/2	○〔去冬諸家様方御参集之節出精 相勤候二付褒書〕	(慶応元)	海田市年寄八郎太	切紙	(1通)
567/3	○〔海田市年寄辞令〕	辛未(明治4)11.12	安芸郡社倉支配役同格海 田市千葉雄之助	切紙	(1通)
505	〔巳年凶作救済用途江献米等奇特 二付褒書 銀三拾五匁差遣〕	辛未(明治4)6.	広島藩庁 安芸郡社倉支配 役同格海田市千葉雄之助	切紙	1通
吉凶					
368	御悔衆中扣帳	宝暦8.11.13		横長	1冊
562	〔幽松院一周忌・三周忌法事覚書〕	(宝暦8・10)		横長	1冊
493	幽松院貞彫七廻忌二付諸事覚書	(明和元)11.10~		横長	1冊
377	幽松院十三廻忌法事諸入用覚帖	明和7.11.9~		横長	1冊
376	系んちやういん様五十年廻忌諸入 用帖	安永3.4.3		横長	1冊
378	幽松院十七廻忌法事諸入用扣帖	安永3.11.13		横長	1冊
263	幽松院廿五廻忌法事諸入用帖	天明2.11.12		横長	1冊
264	桂壑玄株信士五拾年廻着帖	天明4.6.11		横長	1冊
379	幽松院三十三廻忌法事諸入用帖	寛政2.11.13		横長	1冊
381	梅岩妙馨信女三廻忌法事	寛政2.12.13		横長	1冊
491	八旬寿賀諸扣帖	文化2.正.吉		横長	1冊
380	幽松院貞彫信女様五十年忌法事入 用扣	文化4.11.13		横長	1冊
385	紐放諸扣帳	文政元.11.吉		横長	1冊
386	貞次郎前髪之節諸扣帳	文政2.11.6		横長	1冊
387	於三保婚礼引越諸事扣目録帖	文政9.2.吉		横長	1冊
390	於常引越婚礼諸扣帖	天保5.10.吉		横長	1冊
389	諸事扣 人遣ひ(葬儀力)	申.5.5		横長	1冊
541	惣せわやき(吉凶之節諸役名簿)	(近世)		切継紙	1通
565	〔法事之節諸役名簿〕	(近世)		横長	1冊
566	〔駕者名簿等〕	(近世)		折紙	1通
401	高田郡吉田町西名氏へ義之助入家 二附諸事扣	明治36.11.5		横長	1冊
402	〔三男義之助吉田町西名家へ贅養 子トシテ入家諸事一件〕	明治36.10.13		折紙	1通
421	婚儀式粧献立			竖継紙	1通
紀行・日記					
367	伊勢参道中雑記	天保7.卯.吉	(神保屋八郎太)	横半	1冊
366	伊勢参道中并二帰国船中入用控	天保7.5.7 (~6.7)	(神保屋八郎太)	横半	1冊
371	道中安楽記 巻~四	天保9.3.23 (~8.8)	(神保屋八郎太)	横半	1冊
370	石州往来諸事扣帖	安政4.卯.10	(神保屋八郎太)	横半	1冊
497	冬期休暇中日誌	明治36.12.25~ 明治37.1.7	千葉慶四郎	竖冊	1冊

番号	表題	年代	作成	形態	数量
貸借					
288	覚(借銀証文) 銀札28貫目	文化12.11.4	神保屋大蔵 新宅屋惣次郎 殿	豎切紙	1通
289	覚(大蔵借用29貫目余の返済二付 引受証文控)	文化13.臘.24	神保屋清次郎・証人出雲屋 久蔵外1名 新宅屋惣次郎 殿	豎紙	1通
290	覚(借銀証文) 銀60貫目,奥印抹消	文政8.6.2	海田市神保屋清次郎・証人 東神保屋弥三郎外1名 広 村長浜浦兼屋三右衛門殿 奥書海田市庄屋新太郎外 1名・与頭永次郎 長浜浦 兼屋三右衛門殿	豎継紙	1通
310	覚(借銀添証文) 銀札160貫目,奥印抹消	文政12.11.	神保屋兵左衛門 栗田屋伝 右衛門殿 奥書神保屋寿平 外1名 栗田屋伝右衛門殿	豎継紙	1通
309	覚(借銀添証文) 銀札10貫目	文政13.5.6	神保屋兵左衛門・加印同寿 平外1名 栗田屋伝右衛門 殿	豎紙	1通
313	覚(借銀証文) 銀5貫目	文政13.7.5	神保屋兵左衛門・証人同寿 平外1名 栗田屋伝右衛門 殿	豎紙	1通
303	覚(借銀証文) 銀札15貫目,卯八月三日栗田屋方戻り	文政13.11.5	神保屋兵左衛門 栗田屋伝 右衛門殿	豎切紙	1通
291	覚(借銀証文) 銀17貫目,卯八月三日栗田屋方戻り,加印抹消	文政13.臘.7	神保屋兵左衛門・加印同寿 平外1名 栗田屋伝右衛門 殿	豎紙	1通
350	覚(本家家賃借銀二付受合証文) 銀札9貫目	天保6.霜.	神保屋寿平 新宅屋惣次郎 殿・同大次郎殿	豎紙	1通
356/20	○覚(借銀証文) 銀札150貫目	天保6.11.	神保屋兵左衛門 栗田屋伝 右衛門殿 奥書神保屋寿平 外1名 栗田屋伝右衛門殿	豎継紙	(1通)
356/5	○覚(借銀証文) 銀札15貫目,消印あり	天保10.5.5	神保屋兵左衛門・神保屋寿 平外1名 栗田屋長三郎殿	豎紙	(1通)
356/4	○覚(古証文認め替二付式拾四通 預り証文) 消印あり	天保10.10.7	神保屋兵左衛門・神保屋寿 平外1名 栗田屋伝右衛門 殿 奥書海田市用場 栗田 屋伝右衛門殿	豎紙	(1通)
302	覚(借銀添証文) 銀札50貫目	天保12.4.20	神保屋八郎太 栗田屋伝右 衛門殿	豎切紙	1通
356/27	○覚(借銀証文) 銀札10貫目	天保12.10.13	神保屋八郎太・加印奥田屋 林次 成本屋新蔵殿	豎紙	(1通)
337	覚(借銀添証文) 銀15貫目	天保12.11.	神保屋兵左衛門 栗田屋伝 右衛門殿	豎切紙	1通
351	覚(借銀添証文) 銀35貫目	天保12.11.	神保屋八郎太 栗田屋伝右 衛門殿	豎切紙	1通
356/6	○覚(借銀添証文) 銀札50貫目	天保13.5.5	神保屋八郎太 竹内伝右衛 門殿	豎紙	(1通)
356/2-1	○覚(借銀添証文) 銀札15貫目	天保13.5.7	神保屋八郎太 竹内伝右衛 門殿	豎紙	(1通)
340	覚(借銀添証文) 銀札30貫目	天保13.7.13	神保屋八郎太・奥田屋永次 郎 竹内伝右衛門殿	豎切紙	1通
356/2-3	○覚(借銀添証文) 銀30貫目	天保13.11.	神保屋八郎太 竹内伝右衛 門殿	豎切紙	(1通)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
316	覚(借銀証文) 銀札15貫目	天保13.大晦日	神保屋八郎太 猫屋孫助殿	豎切紙	1通
308	覚(借銀添証文) 銀札80貫目	天保14.5.	神保屋八郎太 浜田屋藤吉殿	豎紙	1通
321	覚(借銀証文) 銀札10貫目	天保15.10.	神保屋 大浜屋清七殿	豎紙	1通
356/21	○覚(預り手形) 銀札20貫目	天保15.12.15	神保屋八郎太 木屋茂助殿	豎紙	(1通)
356/28	○覚(借銀添証文) 銀札30貫目	天保15.12.	神保屋八郎太 竹内伝右衛門殿	豎紙	(1通)
356/29	○借用手形之事 銀札10貫目	弘化2.極.	神保屋八郎太 奥田屋林次殿	豎紙	(1通)
356/30	○借用手形之事 金30両	弘化5.5.9	神保屋八郎太 浜田屋藤吉殿	豎紙	(1通)
320	添証文之事(借銀添証文) 正金300両	嘉永5.9.	神保屋清次郎・証人神保屋友太郎 木屋保次郎殿	豎紙	1通
344	借用手形之事 正金100両	嘉永5.11.5	神保屋八郎太・証人神保屋恭平 浜田屋藤吉殿	豎紙	1通
319	預り手形之事 正金50両	嘉永6.9.5	神保屋 大島屋甚七殿	豎切紙	1通
356/22	○添証文之事(借金添証文) 正金250両	嘉永6.9.5	借主神保屋清次郎・証人神保屋友太郎 銀主柴屋伊兵衛殿・取次木屋保次郎殿	豎紙	(1通)
356/25	○借用手形之事 金20両	安政3.9.5	神保屋八郎太 木屋保次郎殿	豎切紙	(1通)
356/24	○借用手形之事 金60両	安政3.11.5	神保屋八郎太 木屋保次郎殿	豎切紙	(1通)
356/26	○借用手形之事 講金之内金60両	安政3.11.5	神保屋八郎太 木屋保次郎殿	豎切紙	(1通)
356/18	○借用手形之事 金30両	安政3.11.7	神保屋八郎太 木屋保次郎殿	豎切紙	(1通)
339	借用手形之事 金80両	文久元.10.	神保屋清次郎 新宅屋惣次郎殿	豎切紙	1通
356/17	○預り手形之事 金50両,全文抹消	文久2.12.8	本神保屋 東新宅屋	豎紙	(1通)
356/23	○覚(借銀添証文) 銀札100貫目	卯(天保14カ).11.23	神保屋八郎太 浜田屋藤吉殿	豎紙	(1通)
書状					
522	あり光屋内書状(あら玉の御寿)	.正.けふ	みつしま御後家様	折紙	1通
518	ありみつ屋内書状(春の御しうぎ)	.むつき.けふ	かきの内御ふもし様・かる御うもし様	折紙	1通
362	上野屋八十八書翰(山論の聞約のため豊田郡久芳村に出勤する)	. .17	神保御伯父様	切紙	1通
523	おの五三郎書状(あら玉の御寿)	.正.けふ	ましげ御後室様	折紙	1通
528	かゝみ五三郎母書状(権九郎様大役御こうむりあそはし候お祝い)	.11.吉	三かみ御ふもし様	折紙	1通
540	上神源助書状(さけを之儀二付)	.11.12	神保屋弥五郎様	切紙	1通
520	かわのや姉書状(初春の御寿)	.正.吉	神保屋おかや様	折紙	1通

番号	表題	年代	作成	形態	数量
537	川のやふみ・せん書状(おせん縁付二付諸道具貸与願)	.さつき.26	神保御おば様	切継紙	1通
517	川のやふみ書状(御貸被遣候品物につき)	.閏2.	神保御おは様	切継紙	1通
543	川のやふみ書状(吉左衛門津の国や方へ当春 <sup>ふ</sup> せわ様二相成)	.7.23	神保や御おば様	切継紙	1通
535	川のや姉書状(婚禮祝い)	.けふ	神保屋おさた殿	折紙	1通
545	孝一郎書状(はやはや御帰りに可被成候,玉子御こし下され候様ご伝言願)	.はつ秋.29	お榎殿	折紙	1通
550	神保大蔵書状(栄太郎神参御世話二付御礼・去ル十八日少将君御逝去) 2通分裏表にあり,裏の書状の日付「11.24」	(文化10)11.24	藤左衛門様・庫次郎様/ 三浦御かもし様	折紙	1通
547	神保大蔵書状(改年之御吉慶)	.正.	澄川俊右衛門様	折紙	1通
554	大蔵書状	.正.	おてつとの	折紙	1通
559	神保大蔵書状(新暦之吉慶)	.正.	大坪弥太郎様	折紙	1通
555	神保大蔵書状(新玉の春の御寿)・〔神保大蔵書状案〕(新年之御吉慶) 2通分裏表にあり,裏の書状の日付「正.11」	.正.	三浦御母人様/ 右衛門様	三浦次折紙	1通
551	神保大蔵書状(数日滞留中之御礼)	.5.	三浦藤左衛門様	折紙	1通
552	神保大そう書状(庫次郎様御出被下候せつ御しんもの品々の御礼)	.6.16	御鉄との	折紙	1通
548	神保大蔵書状(河上一件落着安心・参殿時期二付)		三浦御母上様	折紙	1通
553	〔神保大蔵書状案〕(逗留中御礼)		澄川俊右衛門様	折紙	1通
556	〔神保大蔵書状案〕(新年之御吉慶・生鰯御進上御礼)		三(浦)藤左衛門様・三(浦)庫次郎様	折紙	1通
557	〔神保大蔵書状案〕(遠方御出浮御礼・招待御礼) 2通分裏表にあり		三浦利右衛門様/ 三浦兼太郎様	折紙	1通
560	〔神保大蔵書状案〕(新春之御吉慶) 2通分裏表にあり	.正.	澄川藤右衛門様/ 長兵衛様	香川折紙	1通
549	神保屋八郎太書状(御役蒙御祝詞)	.2.22	岡田修平様	折紙	1通
513	田屋姉徳書状(八郎太様ふかげん御見舞・その外御見舞・薬礼)	.8.13	神保屋おかやとの	折紙	1通
531	竹内富書状(初春の御寿)	.政.けふ	神保御叔母様	折紙	1通
532	竹内亮左衛門内書状(迎春御祝詞)	.むつき.5	神保御賀美様	折紙	1通
511	津田仙林院書状(雄之介様御成人の祝い)		神保御夫婦様	折紙	1通
512	(津田)仙林院書状(砂糖贈呈)		八郎太様	切継紙	1通
539	津ノ国屋まき書状(暑中見舞)	.6.26	かいた神保屋おかや様	切継紙	1通
529	殿原やかよ書状(初春の御寿)	.政.けふ	御はゝ様・御うもし様	折紙	1通
514	母書状(小鳥五は・そはの粉すこし計送り申候)	.乙.20	おさた殿	切継紙	1通
561	〔三上さち書状綴〕 7通合綴			綴	1綴 (7通)
519	三上母書状(初春の御寿)	.むつき.吉	神保御もし様	折紙	1通
530	三上母書状(初春の御祝儀及び権九郎殿御祝儀)	.政.けふ	神保おかやとの	折紙	1通



番号	表題	年代	作成	形態	数量
526	三上はゝ書状(初春めて度・贈物・おみさ迎へ等)	.きさらき.5	神保おかくとの	折紙	1通
544	みつしけかゝ書状(御文お礼・家内様子報知) 包入	.3.朔	神保おかや殿	折紙	1通
534	みつしけさち書状(初春の御祝儀)	.政.吉	とのかいち御姉様	折紙	1通
521	さち書状(初春の御寿)	.政.吉	竹之内御姉様	折紙	1通
533	(みつしげ)さち書状(龜物紺屋へ遣し)	.極.17	御姉様	折紙	1通
536	みつしけ母書状(年始御祝儀)	.政.吉	神保屋孝一郎様・おかや殿	折紙	1通
558	宗像友(藤原義方)書状(年甫御祝詞)	.正.21	神保貞次郎様	折紙	1通
360	脇万左衛門書状(信平の婚礼が整い祝品を送る)	.閏.3.17	神保屋兵左衛門様	折紙	1通
361	(脇)万左衛門書翰(土産受納のお礼)	. .17	兵左衛門様	切紙	1通
524	和田内御かよ書状	.神.けふ	神保御かみ様・御うもし様	折紙	1通
525	和田嘉代書状 4通合綴			綴	1綴 (4通)
525/1	○か代書状(き園様御祭り祝い)	子.12.12	和た御はゝ様・同御かもし様	折紙	(1通)
525/2	○嘉代書状(けふのしつかさ・かねあり屋敷への納米)	.きさらき.13	備繁 <sup>方</sup> 嘉代 和田御はつ様	折紙	(1通)
525/3	○[嘉代書状](おち様吉舎町へ御滞留の様子申上たく)			折紙	(1通)
525/4	○道垣内嘉代書状(向山迄御通拜見二参り度)	.衣更着.仲.5	備繁およし様・同おせん様・御ちか様	折紙	(1通)
515	郎九書状(おくぐんそうとう居合申候ゆへ一寸御仏参申上度)	.3.3	神保屋御叔母上様	切継紙	1通
516	某書状(かき受取)		御おは様	切継紙	1通
527	某書状(初春の御寿)		雄之介様	折紙	1通
542	某書状(あら玉の御寿)			折紙	1通
546	某書状(初春の御寿)			折紙	1通
学芸					
425	打毬勝負帳	文政2.8.		横長	1冊
426	村中を引受献立	文政4.正.15		豎冊	1冊
359	周易十有八变割卦	.3.吉	百々海春台	豎紙	1通
431	一代易十有八变九疇割卦細考之記 写本	天保2.4.吉	百々海春台	豎冊	1冊
430	十二宮伝書	.6.吉	百々海 神保氏	豎冊	1冊
450	手相秘伝 写本			豎冊	1冊
453	人相流年割穴所名目初伝 写本	.4.吉	百々海	豎冊	1冊
576	神保八郎太・神保御令政主方 2通		駟笠斎	切紙	2通

番号	表題	年代	作成	形態	数量
574	〔雑記綴〕 罫紙使用, 蜀山人狂歌集・石垣根巻修築願書案等, 綴組欠			綴	1 綴
459	〔庭園図〕			一紙	1 枚
(7) 聞書					
432	長崎蘭人異事聞書(シーボルト事 丑(文政12).3. 件等長崎町人より聞書)			切継紙	1 通
428	府老君御密書			豎冊	1 冊
(8) その他					
510	御奉書巻ツ入 包のみ			包	1 包
575	〔時差・食甚定分等一覧〕 豎冊断簡			一紙	1 枚

### 3 典籍

#### (1) 漢籍

218/3	○ 龍頭論語集註 一～四 板本, 4冊, 「首書四書集註」のうち		朱熹集註	豎冊	(4冊)
219/11	○ 論語集註 板本, 4冊, 「東神保屋」と書き込みあり		朱熹集註・山崎嘉点	豎冊	(4冊)
219/20	○ 論語集註 板本, 4冊, 「神保屋千葉姓」・「神保屋弥五郎」と書き込みあり		朱熹集註・山崎嘉点	豎冊	(4冊)
218/4	○ 龍頭孟子集註 一～四 板本, 4冊, 「首書四書集註」のうち		朱熹集註	豎冊	(4冊)
219/1	○ 孟子集註 板本, 4冊	明和 5.5 .再版	朱熹集註・山崎嘉点・寿文堂井上清兵衛	豎冊	(4冊)
219/2	○ 孟子集註 一～四 板本, 4冊		朱熹集註・山崎嘉点・(大坂)村上勘右衛門外	豎冊	(4冊)
218/1	○ 龍頭大学章句 全 板本, 「首書四書集註」のうち		朱熹	豎冊	(1冊)
219/3	○ 大学章句 再校 板本		朱熹・山崎嘉点	豎冊	(1冊)
219/4	○ 大学章句 板本, 「海田市東神保姓」と書き込みあり		朱熹・山崎嘉点	豎冊	(1冊)
219/5	○ 大学或問 板本		朱熹・山崎嘉点	豎冊	(1冊)
218/2	○ 龍頭中庸章句 全 板本, 「首書四書集註」のうち		朱熹	豎冊	(1冊)
219/10	○ 中庸章句 板本		朱熹・山崎嘉点	豎冊	(1冊)
219/14	○ 中庸章句 板本		朱熹・山崎嘉点	豎冊	(1冊)
219/12	○ 中庸輯略 上・下 板本, 2冊		朱熹・山崎嘉点	豎冊	(2冊)
219/13	○ 中庸或問 板本, 2冊		朱熹・山崎嘉点	豎冊	(2冊)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
219/16	○説約合参四書正解 卷之一～三 十 板本, 30冊	元禄10.孟春.穀旦	吳蓀右彙輯・平安城書林天王寺屋市郎兵衛好延蔵梓	豎冊	(30冊)
219/9	○礼記 積義音積 一～四 板本, 4冊	寛政元.9.吉辰	朱熹音積・多賀漸点・東武須原屋茂兵衛外	豎冊	(4冊)
219/19	○春秋 積義音註 全 板本		朱熹・多賀漸点	豎冊	(1冊)
219/6	○新刻頭書詩經集註 一～六 板本, 6冊	寛政3.5.再刻	朱熹・今村八兵衛蔵板	豎冊	(6冊)
219/8	○詩經 積義音註 律・呂 板本, 2冊,「千葉」印あり		朱熹・多賀漸点	豎冊	(2冊)
219/17	○書經 積義音註 上・下 板本, 2冊		朱熹・多賀漸点	豎冊	(2冊)
219/18	○易經 積義音註 坤・乾 板本, 2冊		朱熹・多賀漸点	豎冊	(2冊)
219/15	○小学 内篇・外篇 板本, 2冊	天明3.季秋	朱熹・山崎嘉点・京師書林風月荘左衛門外	豎冊	(2冊)
219/7	○近思録 一～十四 板本, 5冊	安永3.5.再板	朱熹・山崎嘉敬義序・寿文堂井上清兵衛	豎冊	(2冊)
216/3	○増補正文章軌範評林 一～三 板本, 3冊,「千葉」印あり	明治28.4.15再版発行	藍田東亀年補訂外・京都市岡本工ツ外発行	豎冊	(3冊)
216/4	○増補続文章軌範評林 一～三 板本, 3冊,「千葉」印あり	明治28.4.15再版発行	藍田東亀年補訂外・京都市岡本工ツ外発行	豎冊	(3冊)
45	標記増補十八史略 三～七 板本, 5冊,内題「立齋先生標題解註音積十八史略」,「千葉」印あり	明治17.11.1	岩垣東園再校・京都府藤井孫兵衛外出版	小豎冊	(5冊)

## (2) 漢学

14	小学示蒙句解 一～十 板本, 10冊	元禄3.6.序	中村之欽(惕齋)・浪速書林 渋川清右衛門外	豎冊	10冊
48	五常五倫名義 附大学詠歌・病中のすさひ 板本	宝暦11.9.	室鳩巢著・東都書肆崇文堂 前川六左衛門	豎冊	1冊
124	新鐫大学古文真宝 乾・坤 板本, 2冊,内題「魁本大字諸儒箋解古文真宝」,「本主坪屋八平」・「湊操軒九華書之」・「神保氏」・「享保十四歳子於西法爾舍讀此書畢,于時僕十四歳也」と書き込みあり		浪花書林中蔵版	豎冊	2冊
216/5	纂評唐宋八大家文読本 一～三十 板本, 16冊,「千葉」印あり	明治18.7.補刻	沈徳潜著・井上揆纂輯・東京丸家善七外出版・発兌書肆東京阪上半七外	豎冊	16冊

## (3) 宗教

## 神道

437	神国令 板本	享和3.正.	吉田殿神学館主玉田永教	横半	1冊
-----	-----------	--------	-------------	----	----

## 祭祀

215/3	○筑前香椎宮略縁起 板本	寛政11.2.	別当天台宗護国寺	豎冊	(1冊)
215/2	○東照宮御祭礼図絵 板本, 破損大	文化12.5.発兌	書林広島中島本町世並屋伊兵衛蔵板	豎冊	(1冊)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
<b>(4) 言語</b>					
<b>音韻</b>					
455	韻秘袖中 卷一 板本, 破損前欠			豎冊	1冊
<b>字書</b>					
213	増続大広益会玉篇大全 板本, 12冊, 「海田中神保」印あり, 慳貪入, 「増続大広益会玉篇」と張り紙あり	安永 9.再刊	毛利貞斎・浪速書肆大野木市兵衛外	豎冊	12冊
55/1	○増続大広益会玉篇大全 子~亥 板本, 12冊	安永 9.再刻	毛利貞斎	豎冊	(12冊)
55/2	○増続大広益会玉篇大全 子~亥 板本, 12冊, 申~亥破損あり	安永 9.再刻	毛利貞斎・浪速書肆大野木一兵衛外	豎冊	(12冊)
210/4	○大成正字通 板本	享和 2.発行	浪華吉文字屋市兵衛外	小横半	(1冊)
210/2-1	○四體千字文国字引 板本	(江戸期)	浪華書肆吉文字屋市兵衛外	豎冊	(1冊)
210/3-2	○布令必用新撰字引 板本	(明治 2)	洛南八幡松田成己序	小横半	(1冊)
210/3-1	○漢語両通新選いろは字引大全 板本, 「千葉鉄之助什物」と書き込みあり	明治14. 4.上旬刻成	京都府府山川良峯編輯・京都府遠藤平左衛門出版	小横半	(1冊)
<b>辞典</b>					
210/2-7	○大全早引節用集 板本, 「千葉」印あり	文化 2. 2.吉旦	江戸西村源六外	横半	(1冊)
210/1-1	○大全早引節用集 板本, 表紙破損, 後欠	文政10.		小横半	(1冊)
217/6	○大全早引節用集 板本	文政10. 2.吉旦	江戸須原屋茂兵衛外	小横半	(1冊)
<b>(5) 文学</b>					
<b>物語・滑稽本</b>					
49	新版彙入伊勢物語 よみくせ付す みにごり上・下 板本, 2冊	(江戸期)	(京都) 袋屋十郎兵衛	豎冊	2冊
117	滑稽道中宮島土産 初編之拾遺 全 板本, 「海田市猫屋」と書き込み, 「海田市猫屋本家」印あり	嘉永 5.仲春	十方舎一丸著・発行書林江戸須原屋茂兵衛外	小豎冊	1冊
<b>読本</b>					
15	太平朝日軍記 卷之壱~二拾五 写本, 25冊			豎冊	25冊
56	三考仙台萩 壱~十五 写本, 15冊	宝暦 8.初冬.23跋	夏如山主東呉序	豎冊	15冊
204	真書太閤記 初篇 一~三十 写本, 30冊			豎冊	30冊
203	太閤真蹟記 二篇 壱~三十 写本, 30冊			豎冊	30冊

番号	表題	年代	作成	形態	数量
115	太閤真蹟記 三編 巻~三十 写本, 15冊, 「八利」印あり			縦冊	15冊
206	太閤真蹟記 四篇 一~三十 写本, 30冊			縦冊	30冊
59	太閤真蹟記 五編 巻第一~三十 写本, 15冊, 「八幡田中町 大和屋利介百十番」と書き込みあり			縦冊	15冊
57	太閤真蹟記 七篇 巻~三十 写本, 30冊, 巻巻破損大, 「万借本 御書物売買 文器堂 堂島下江橋井筒屋矢野治助」印あり			縦冊	30冊
202	真書太閤記 八篇 一~三十 写本, 30冊, 落書多し, 「太閤記八編 全部三十冊」付札あり, 「万借本 御書物売買 文器堂 百六十 堂島下江橋井筒屋矢野治助」印あり			縦冊	30冊
42	真書太閤記 九篇 第一~廿五 写本, 25冊, 「万借本 御書物売買 文器堂 百七十 堂島下江橋井筒屋矢野治助」印あり			縦冊	25冊
41	真書太閤記 拾篇 第一~三十 写本, 30冊, 「万借本 御書物売買 文器堂 百七十六 堂島下江橋井筒屋矢野治助」印あり			縦冊	30冊
58	豊臣鎮西御軍記 一~三十五 写本, 35冊			縦冊	35冊
205	厭飫太平楽記 巻~卅 写本, 30冊			縦冊	30冊
和歌					
114	百人一首新抄 板本	享和4.正.	石原正明注釈・江戸書林万 笈堂英平吉蔵板	縦冊	1冊
424	童翫抄 写本	文化6.6.写	武陽麻中隠士遁危子著・宗 像友三写	縦冊	1冊
歌学					
210/1-7	○浜のまさこ 夏 板本	(江戸期)	(有賀長伯)	縦冊	(1冊)
俳句					
211	季寄註解改正月令博物筌 板本, 14冊, 二月部・八月部欠, 慳貪入	文化5.9.	鳥飼洞齋編述・浪花書肆吉 文字屋市左衛門	小横半	4冊
217/7	○養花集 板本	天保12.秋序	和切志馬頭(霞卜)外著・ 広島洗耳堂蔵梓	縦冊	(1冊)
125	〔蕉雨会弥生巻中〕 写本	辛亥(嘉永4.)	半月庵選	横半	1冊
(6) 音楽・演劇					
歌謡					
217/8	○再刻琴曲鈔 新組入 裏 板本, 「海田中神保」印あり	宝暦13.孟春	江戸須原屋茂兵衛外	小横冊	(1冊)
16	華袋 竹の巻 板本	(文化頃)	一荷堂半水輯編・長谷川貞 信画	小横冊	1冊
112	新選朗詠集 上・下 板本, 2冊, 「文化十三年戌正月吉日求之」・「菊屋円次郎」と書き込みあり			小縦冊	1冊
17	さみせん歌本 写本		こめやふみ	横半	1冊

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
謡曲					
214/21	○やう老・屋しま・源氏供養・山 うは・隅田川 三 板本	寛文 4.9.吉	(京都)上村次良右衛門開 板	豎冊	(1冊)
207	北流謡本 30冊入,「北流謡本」とはり紙あり	(安永 5)		愷貪	1箱 (30冊)
207/1	○高砂・弓八幡・養老・御裳濯・ 絵馬 一 板本,「海田中神保」印あり	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/2	○老松・白楽天・放生川・呉服・ 西王母 二 板本,「海田中神保」印あり	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/3	○加茂・氷室・嵐山・竹生嶋・和 布刈 三 板本,「海田中神保」印あり	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/4	○難波・白髪・大社・源大夫・東 方朔 四 板本,「海田中神保」印あり	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/5	○玉井・金礼・岩船・皇帝・道明 寺 五 板本,「海田中神保」印あり	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/6	○田村・八嶋・箆・兼平・実盛 六 板本,「海田中神保」印あり	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/7	○朝長・忠度・通盛・清盛・俊成 忠度 七 板本,「海田中神保」印あり	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/8	○頼政・あつもり・知章・経政・ 巴 八 板本,「海田中神保」印あり	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/9	○東北・はせを・野々宮・江口・ 楊貴妃 九 板本,「海田中神保」印あり	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/10	○湯谷・松風・井筒・采女・六浦 十 板本,「海田中神保」印あり	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/11	○千寿・班女・二人静・吉野静・ 仏原 十一 板本,「海田中神保」印あり	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/12	○夕顔・半部・浮舟・玉葛・源氏 供養 十二 板本,「海田中神保」印あり	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/13	○誓願寺・葛城・三輪・竜田・巻 絹 十三 板本,「海田中神保」印あり	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/14	○羽衣・杜若・小塩・遊行柳・西 行桜 十四 板本,「海田中神保」印あり	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/15	○春日龍神・野守・鶺鴒・錦木・ 舟橋 十五 板本,「海田中神保」印あり	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/16	○小鍛冶・雷電・殺生石・鶴・鐘 馱 十六 板本,「海田中神保」印あり	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
207/17	○是界・鞍馬天狗・車僧・大会・舍利 十七 板本,「海田中神保」印あり	安永 5 .	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/18	○自然居士・東岸居士・華月・放下僧・藤永 十八 板本,「海田中神保」印あり	安永 5 .	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/19	○盛久・芦刈・安宅・春栄・小督 十九 板本,「海田中神保」印あり	安永 5 .	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/20	○調伏曾我・元服曾我・小袖曾我・夜討曾我・禅師曾我 廿 板本,「海田中神保」印あり	安永 5 .	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/21	○鸚鵡小町・閑町小町・卒塔婆小町・捨垣・伯母捨 廿一 板本,「海田中神保」印あり	安永 5 .	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/22	○定家・木賊・是清・隅田川・雨月 廿二 板本,「海田中神保」印あり	安永 5 .	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/23	○石橋・望月・国栖・照君・山姥 廿三 板本,「海田中神保」印あり	安永 5 .	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/24	○道成寺・葵上・黒塚・紅葉狩・船弁慶 廿四 板本,「海田中神保」印あり	安永 5 .	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/25	○為頭・藤渡・阿漕・通小町・女郎花 廿五 板本,「海田中神保」印あり	安永 5 .	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/26	○月宮殿・邯鄲・天鼓・富士太鼓・梅枝 廿六 板本,「海田中神保」印あり	安永 5 .	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/27	○柏崎・百万・三井寺・桜川・籠太鼓 廿七 板本,「海田中神保」印あり	安永 5 .	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/28	○鉢木・七騎落・正尊・橋弁慶・熊坂 廿八 板本,「海田中神保」印あり	安永 5 .	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/29	○蟻通・歌占・唐船・張良・項羽 廿九 板本,「海田中神保」印あり	安永 5 .	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
207/30	○海人・当麻・弦上・融・狸々 三十 板本,「海田中神保」印あり	安永 5 .	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
208	〔謡本〕 15冊入	(安永 5・文化 3)	東都戸倉屋喜兵衛外	慳貪	1箱 (15冊)
208/6	○高砂・弓八幡・養老・御裳濯 一 板本	安永 5 .	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
208/7	○老松・白楽天・放生川・呉服・西王母 二 板本	安永 5 .	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
208/8	○加茂・氷室・嵐山・竹生嶋・和布刈 三 板本	安永 5 .	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
208/9	○難波・白髪・大社・源大夫・東 方朔 四 板本	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
208/10	○玉井・金礼・岩船・皇帝・道明 寺 五 板本	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
208/11	○田村・八嶋・箆・兼平・実盛 六 板本	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
208/12	○朝長・忠度・通盛・清経・俊成 忠度 七 板本	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
208/13	○頼政・あつもり・知章・経政・ 巴 八 板本	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
208/14	○東北・芭蕉・野々宮・江口・楊 貴妃 九 板本	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
208/15	○湯谷・松風・井筒・采女・六浦 十 板本	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
208/1	○雲林院・落葉・住吉詣・二人祇 王・籠祇王 板本	文化 3.6.癸兌	東都須原屋茂兵衛	豎冊	(1冊)
208/2	○花筐・加茂物狂・雲雀山・飛鳥 川・蟬丸 板本	文化 3.6.癸兌	東都須原屋茂兵衛	豎冊	(1冊)
208/3	○〔謡本〕(東北・芭蕉・江口・二 人静他) 写本			豎冊	(1冊)
208/4	○〔謡本〕(高砂・老松・養老・難 波他) 写本			豎冊	(1冊)
208/5	○〔謡本〕(高砂・弓八幡・老松・ 呉服他) 「本千葉氏」と書き込みあり			豎冊	(1冊)
214	〔謡本〕 20冊入	(安永 5.)		愷貪	1箱 (20冊)
214/6	○千寿・班女・二人静・吉野静・ 仏原 十一 板本	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
214/7	○誓願寺・葛城・三輪・竜田・巻 絹 十三 板本	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
214/8	○羽衣・杜若・小塩・遊行柳・西 行桜 十四 板本	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
214/9	○春日龍神・野守・鶴飼・錦木・ 舟橋 十五 板本	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
214/10	○小鍛冶・雷電・殺生石・鶴・鐘 旭 十六 板本	安永 5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)



番号	表題	年代	作成	形態	数量
214/11	○是界・鞍馬天狗・車僧・大会・舍利十七 板本	安永5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
214/12	○自然居士・東岸居士・華月・放下僧・藤永十八 板本	安永5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
214/13	○盛久・芦刈・安宅・春栄・小督十九 板本	安永5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
214/14	○調伏曾我・元服曾我・小袖曾我・夜討曾我・禅師曾我廿 板本	安永5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
214/15	○鸚鵡小町・関町小町・卒塔婆小町・捨垣・伯母捨廿一 板本	安永5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
214/16	○定家・木賊・是清・隅田川・雨月廿二 板本	安永5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
214/17	○道成寺・葵上・黒塚・紅葉狩・船弁慶廿四 板本	安永5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
214/18	○月宮殿・邯鄲・天鼓・富士太鼓・梅枝廿六 板本	安永5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
214/19	○鉢木・七騎落・正尊・橋弁慶・熊坂廿八 板本	安永5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
214/20	○蟻通・歌占・唐船・張良・項羽廿九 板本	安永5.	東都戸倉屋喜兵衛外	豎冊	(1冊)
214/1	○求塚・砧・水無瀬・小原御幸・摺待四 板本	文化3.6.癸兌	喜多健意齋編・東都須原屋茂兵衛	豎冊	(1冊)
214/2	○松虫・満仲・高野物狂・土車・弱法師五 板本	文化3.6.癸兌	喜多健意齋編・東都須原屋茂兵衛	豎冊	(1冊)
214/3	○咸陽宮・鱗形・鉄輪・竹雪・鳥追船六 板本	文化3.6.癸兌	喜多健意齋編・東都須原屋茂兵衛	豎冊	(1冊)
214/4	○大仏供養・関原与市・烏帽子折・檀風・谷行七 板本	文化3.6.癸兌	喜多健意齋編・東都須原屋茂兵衛	豎冊	(1冊)
214/5	○飛雪・葛城天狗・愛宕空也・龍虎・松山鏡八 板本	文化3.6.癸兌	喜多健意齋編・東都須原屋茂兵衛	豎冊	(1冊)
浄瑠璃					
190	日高川入相花王 板本、「此本之儀者在方江御用立...」と書き込みあり	宝暦9.2.朔	竹田小出出雲外作・(京)本九兵衛外(新版)	豎冊	1冊
168	関取二代鏡 秋津嶋切腹の段 板本		(大坂)佐々井治郎右衛門	豎冊	1冊
171	志度寺の段 花上野 四ツ目 板本		(大坂)佐々井治郎右衛門	豎冊	1冊

番号	表題	年代	作成	形態	数量
174	田う系の段 碁太平記白石噺 四冊目 板本,「東神保や」・「カイト」と書き込みあり		(大坂)佐々井治郎工衛門	豎冊	1冊
200	小坂部館段 蝶花形 八冊目 板本		(大坂)佐々井治郎右衛門	豎冊	1冊
195	政岡忠義段 伽羅先代萩 御殿 板本		(大坂)佐々井治郎工衛門・榎並屋久蔵	豎冊	1冊
199	再板壬生村の段 木下蔭 九之巻 板本		(大坂)佐々井治郎右衛門・榎並屋久蔵板	豎冊	1冊
196	再板政岡忠義段 伽羅先代萩 御殿 板本		浪花草紙問屋佐々井治郎右衛門	豎冊	1冊
188	楓将劔本地三段目 毛ぐさ屋のだん 古戦場鐘掛の松 二段目咲分躑躅段 妹背山四段目 鱗七上使の段 板本		(大坂)天満屋源次郎	豎冊	1冊
175	財布の連判 忠臣蔵 六幕目 板本,「東神保や」・「カイト」と書き込みあり		(大坂)玉水源次郎新版	豎冊	1冊
180	新屋敷の段 八重霞 なにはのはまおき 板本		(大坂)玉水源次郎新版	豎冊	1冊
184	関取千両登幟 弐ツ目 岩川内の段 板本,「東神ほう」・「カイト」と書き込みあり		(大坂)玉水源次郎新版	豎冊	1冊
186	本朝廿四孝 二段目切 勝負館の段 板本		(大坂)玉水源次郎新版	豎冊	1冊
194	沼津里の段口 伊賀越道中双六六ツ目 板本		(大坂)玉水源次郎新版	豎冊	1冊
181	岡崎雪降段 伊賀越 八ツ目 板本		玉水源治郎改(大坂)紙屋与右衛門板	豎冊	1冊
182	十種香の段 廿四孝 四段目の切 板本,「東神保屋」・「海田市」と書き込みあり		玉水源治郎改(大坂)紙屋与右衛門板	豎冊	1冊
183	再板伊賀越道中双六 六ツ目の切 沼津里の段 板本,「東神ほうや」と書き込みあり		(大坂)加嶋屋清助板	豎冊	1冊
191	再板鈴の森の段 恋の緋鹿子 八ツ目 板本		(大坂)加嶋屋清助板	豎冊	1冊
343	再板鈴の森の段 恋の緋鹿子 八ツ目 板本		(大坂)加嶋屋清助板	豎冊	1冊
170	再板綿線馬の段 布引滝 三段目の切 板本		(大坂)加嶋屋清助板	豎冊	1冊
173	再版太平記忠臣講釈 七段目 書置段 板本		(大坂)加嶋屋清助板	豎冊	1冊
176	再板巡礼歌の段 阿波鳴門 八ツ目 板本		(大坂)加嶋屋清助板	豎冊	1冊

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
177	再板平次住家段 鈴鹿合戦 勢州阿漕浦 板本		(大坂)加嶋屋清助板	豎冊	1冊
185	増補関取千両幟 再板猪名川内段切相撲場 板本		(大坂)加嶋屋清助板	豎冊	1冊
189	再板増補朝顔日記 宿屋の段切大井川 板本		(大坂)加嶋屋清助板	豎冊	1冊
193	尼ヶ崎の段 再板太功記 十冊目 板本		(大坂)加嶋屋清助板	豎冊	1冊
197	手習児家段 再板菅原伝授 四ツ目の切 板本		(大坂)加嶋屋清助板	豎冊	1冊
198	再板熊谷陣屋段 一谷嬾軍記 三の切 板本		(大坂)加嶋屋清助板	豎冊	1冊
201	再版甕酢屋の段 千本桜 三段目 板本		(大坂)加嶋屋清助板	豎冊	1冊
178	再板かが見山旧錦絵 七ツ目 長局の段 板本		(大坂)玉置清七新板・(江戸)西宮新六板	豎冊	1冊
169	再板片岡忠義の段 賢女鑑 十冊目 板本		(大坂)播磨屋利兵衛板・糸屋七五郎板	豎冊	1冊
172	再版箱根滝の段 躰仇討 十一冊目 板本		(京都)菱屋治兵衛・(大坂)綿屋喜兵衛板	豎冊	1冊
179	再板かが見山旧錦絵 七ツ目 長局の段 板本		(大坂)本屋清七板	豎冊	1冊
187	釜淵双級巴 中の巻 板本,一部写			豎冊	1冊
192	絵本太功記 五段目の切 板本			豎冊	1冊

## (7) 歴史

## 総記

217/4	○本朝年代即鑑 板本	元文4.孟夏.吉辰	河野斎宮撰・皇都書林文台屋治郎兵衛	小豎冊	(1冊)
50	家内年鑑 全 板本	文化12.2.吉旦	書林京都額田正三郎外	豎冊	1冊

## 通史

148	新補倭年代皇紀絵章 卷之一 板本,破損大	(江戸期)		豎冊	1冊
43	皇朝史略 一~六 板本,6冊,「千葉」印あり,扉に「正統皇朝史略」とあり	(明治18.2.15四刻出版)	青山延于著・(茨城県青山勇出版)	小豎冊	6冊
44	続皇朝史略 一~四 板本,4冊,「千葉」印あり	明治18.2.15四刻出版	青山延于著・茨城県青山勇出版	小豎冊	4冊

番号	表題	年代	作成	形態	数量
46	日本外史 四~十二 板本,9冊,「千葉」印あり	明治14.3.出版	(頼山陽著)・頼又二郎増補・ 発兌書肆(大坂府)和田治 郎兵衛外	小豎冊	9冊
116	改正刪補日本外史字類大全 四 刊本,「千葉」印あり	(明治)	河邨与一郎纂輯	小豎冊	1冊
実録					
215/4	○油井根元実記 写本	(江戸期)		豎冊	1冊
433	慶安前秘録 天 写本,「玉湖亭」と書き込みあり			豎冊	1冊
434	慶安前秘録 地 写本,「玉湖亭」と書き込みあり			豎冊	1冊
435	赤穂誠忠武鑑 卷之壹 写本,表紙欠			豎冊	1冊
436	赤穂誠忠武鑑 卷之 写本,前後欠			豎冊	1冊
458	筑後郡乱記 四 写本			豎冊	1冊
伝記					
120	近世列女伝 卷之下 写本	天明6.3.写	(四日市)日名内茂兵衛写	豎冊	1冊
119	熊谷蓮生一代記 後編 写本,卷末に「白木屋什物」と書き込みあり	嘉永7.春写	葛原斎仲通著・隼田松右衛 門芳纂写	豎冊	1冊
系譜					
149	〔長尾氏濫觴〕 写本,表紙欠			豎冊	1冊
(8) 地理					
地誌					
13	都名所図会 板本,6冊,一部虫損	安永9.中秋	秋里湘夕(籬島)著・竹原 (春朝斎)信繁画・書林(京) 吉野家為八梓	豎冊	1冊
147	大坂新町細見之図濔標 板本,「山口町なかや」と書き込みあり	天明3.正.	(東都)須原屋茂兵衛外	横半	1冊
105	〔巖島案内記〕 写本			豎冊	1冊
217/3	○京都名所順覧記 全 刊本	明治10.10.10刻成発 兌	福富正水著・乙葉宗兵衛編 輯・(京都府)村上勘兵衛出 版	横半	(1冊)
地図					
217/9	○東海・木曾兩道中懷宝図鑑 板本	天明6.正.吉	(江戸)須原屋茂兵衛蔵	小豎冊	(1冊)
217/10	○道中行程大日本独案内 木版	寛政12.夏	書林(大坂)吉文字屋市左 衛門・同源十郎版	舗	(1枚)
215/1	○諸国順覧懷宝道中図鑑 板本	文政9.孟春再刻発兌	書肆(江戸)須原屋茂兵衛 蔵板	折本	(1冊)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
216/1	○大日本行程大絵図 木版	明治9.2.7	鎌田醉翁著・西川祐春補・ (京都)藤井卯兵衛(版)	誦	(1枚)
絵図・案内					
441	万代御江戸図 木版	天保6.再版	東都書林甘泉堂泉屋市兵衛 版	誦	1枚
445	日光山御代参御神忌御用掛役人附 木版,下切	嘉永3.4.	松盛堂蔵□ □	一紙	1枚
444	八幡御行幸御行列之略図(石清水 八幡宮御行幸供奉御列) 木版	文久3.4.11		一紙	1枚
216/2	○撰津大坂図 木版		(大坂)淀屋橋西石川屋和 助版	誦	(1枚)
443	出雲国大社図 木版			一紙	1枚
442	江之島金亀山三宮細見之図 木版		東武斎藤氏杉朝彫刻	一紙	1枚
(9) 法制					
法令					
219/21	○令義解 一~十 板本,11冊	慶安3.	(京都)吉田四郎右衛門刻	豎冊	(11冊)
209	延喜式 一~五十 板本,50冊,摺貪入	享保8.9.	出雲寺蔵版	豎冊	50冊
補任					
212	新板改正天保武鑑 卷之一~卷之 四 板本,4冊,摺貪入	天保3.	江府書林千鍾房須原屋茂兵 衛蔵版	小豎冊	4冊
210/2-3	○泰平万代大成武鑑 卷之一~ 四 板本,4冊	(弘化3以前)	御書物師出雲寺万次郎蔵板	小豎冊	(4冊)
210/3-3	○大成分要万世武鑑 全 板本	安政6.	御書物師(江戸)出雲寺万 次郎板	小横冊	(1冊)
典例儀式					
121	日本年中故事記 一 板本		玉田永教著	豎冊	1冊
(10) 教育					
心学					
51	男子・女子前訓 全 板本	安永7.6.再版	手島堵庵著・中嶋勘兵衛蔵 板・京都弘所書林山本長兵 衛外	豎冊	1冊
教訓					
54	教訓古今道しるへ 全 板本	天保8.秋	(備中阿知郷倉敷)小野治 右衛門蝠翔斎弘度蔵板	豎冊	1冊
53	二十四孝絵鈔 板本	(江戸期)	(熊沢了介著・浦川公左画)	豎冊	1冊

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
113	かねもうかる伝授 上 板本		(脇坂義堂著・下河辺拾水 画)	縦冊	1冊
往来物・教科書					
150	〔女中庸〕 板本,表紙・裏表紙欠			縦冊	1冊
151	〔女中庸〕 板本,表紙・裏表紙欠			縦冊	1冊
282	〔女小学〕 板本			縦冊	1冊
152	〔古今遊女詠歌他 女大学力〕 板本,表紙破損			縦冊	1冊
210/1-4	○万民平生書状案文 板本	天明 8.秋	(東都)山崎金兵衛	横半	(1冊)
118	首書改正文通大全 完 板本	享和 3.8.	浪花書舗勝尾屋六兵衛外	縦冊	1冊
210/1-2	○御家文翰用文章 完 板本	文化 2.3.吉	浪華書林鳥飼市左衛門・小 林六兵衛	縦冊	(1冊)
210/1-5	○絵入女文通宝袋 全 板本,後欠,内題「女文通宝箱」	文化14.春序		縦冊	(1冊)
217/11	○女書札文庫 全 板本	文政 5.孟春	龍章堂書・京都書林河南喜 兵衛外	縦冊	(1冊)
47	万家通用増補文章大全 全 板本	天保 6.春新刻	西川龍章堂閑齋筆・浪華菴 揚齋閑牛画・浪華書林大野 木宝文堂秋田屋市五郎蔵板	縦冊	1冊
217/13	○女訓玉文庫 全 板本	安政 5.春新板	諸国売払書肆(江戸)丁字 屋平兵衛外	縦冊	(1冊)
210/2-2	○女筆姫小松 全 板本	(江戸期)	大坂書肆糸屋市兵衛版	縦冊	(1冊)
210/1-6	○新版校正小野篁歌字尽 全 板本,「東神保屋悱」と落書あり	(江戸期)	書物所(京)阿波屋定次郎・ 大坂阿波屋文蔵板	縦冊	(1冊)
122	新版改正手習教訓書 全 板本,「安政二年卯年東神保屋」と書き込みあり	(江戸期)	書肆(大坂)天満屋安兵衛 板	縦冊	1冊
217/12	○新撰書翰 下 板本	明治27.12.28	小中村義象著・東京市芳川 半七発行	縦冊	(1冊)
107	新編東洋史教科書附図 刊本,「広島陸軍地方幼年学校之印」あり	明治35.3.18	開成館編輯所編纂・東京開 成館・大阪開成館発行	縦冊	1冊

## (11) 理学

曆					
422	寛政十戊午曆 写本	(寛政 9)		縦冊	1冊
423	文政三辛巳略曆 写本	(文政 2)		縦冊	1冊
153	寛政曆 9冊一括	(天保 3 ~ 13)		括	1括 (9冊)
153/1	○天保四癸巳曆 板本	天保 3.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
153/2	○天保六乙未曆 板本	天保 5.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
153/3	○天保八丁酉曆 板本	天保7.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
153/4	○天保九戌戌曆 板本	天保8.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
153/5	○天保十己亥曆 板本	天保9.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
153/6	○天保十一庚子曆 板本	天保10.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
153/7	○天保十二辛丑曆 板本	天保11.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
153/8	○天保十三壬寅曆 板本	天保12.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
153/9	○天保十四癸卯曆 板本	天保13.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
154	天保壬寅元曆 2冊一括	(天保14~弘化4)		括	1括 (2冊)
154/1	○天保十五甲辰曆 板本	天保14.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
154/2	○天保十六乙巳曆 板本	天保15.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
155	天保壬寅元曆 3冊一括	(弘化2~4)		括	1括 (3冊)
155/1	○〔弘化三丙午曆〕 板本	弘化2.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
155/2	○弘化四丁未曆 板本	弘化3.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
155/3	○弘化五戊申曆 板本	弘化4.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
156	天保壬寅元曆 7冊一括	(嘉永元~7)		括	1括 (7冊)
156/1	○嘉永二己酉曆 板本	嘉永元.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
156/2	○嘉永三庚戌曆 板本	嘉永2.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
156/3	○嘉永四辛亥曆 板本	嘉永3.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
156/4	○嘉永五壬子曆 板本	嘉永4.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
156/5	○嘉永六癸丑曆 板本	嘉永5.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
156/6	○嘉永七甲寅曆 板本	嘉永6.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
156/7	○嘉永八乙卯曆 板本	嘉永7.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
157	天保壬寅元曆 5冊一括	(安政2~6)		括	1括 (5冊)
157/1	○安政三丙辰曆 板本	安政2.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
157/2	○安政四丁巳曆 板本	安政3.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
157/3	○安政五戊午曆 板本	安政 4.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
157/4	○安政六己未曆 板本	安政 5.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
157/5	○安政七庚申曆 板本	安政 6.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
158	天保壬寅元曆	(万延元)		括	1括 (1冊)
158/1	○万延二辛酉曆 板本	万延元.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
159	天保壬寅元曆 2冊一括	(文久元~3)		括	1括 (2冊)
159/1	○〔文久二丙戌曆〕 板本	文久元.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
159/2	○文久四甲子曆 板本	文久 3.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
160	天保壬寅元曆 3冊一括	(慶応元~3)		括	1括 (3冊)
160/1	○〔慶応二丙寅曆〕 板本	慶応元.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
160/2	○慶応三丁卯曆 板本	慶応 2.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
160/3	○慶応四戊辰曆 板本	慶応 3.	伊勢度会郡山田西嶋左門	折本	(1冊)
161	天保壬寅元曆	(明治元)		括	1括 (1冊)
161/1	○明治二己巳曆 板本	明治元.	伊勢度会郡山田弘曆者瀬川 舎人	折本	(1冊)
和算					
138	算法勾服致近集 再訂 上・下 板本	寛政11.6.再訂	若杉多十郎撰・平安書林天王 寺屋市郎兵衛	豎冊	1冊
139	拾玉算法童子問 首~卷之五 板本,6冊	天明 4.正.吉祥	村井中漸・平安書林天王寺 屋市郎兵衛寿梓	豎冊	6冊
137	新撰訂正算法稽古図会 全 板本	天保 2.3.癸	暁鐘成纂校・画・書林(京) 吉野家仁兵衛外	豎冊	1冊
136	階梯算法 中 板本	(江戸期)	武田篤之進編	豎冊	1冊
438	塵却記 写本		算拔斉	豎冊	1冊
珠算・数学					
217/1	○珠算改良 写本	(明治)		小豎冊	(1冊)
454	〔幾何問題集〕 写本			豎冊	1冊
(12) 産業					
140	養蚕秘録 上・中・下 板本,3冊	享和 3.正.新刻	上垣伊兵衛守国作・西村中 和外画・江戸書林須原屋茂 兵衛外	豎冊	3冊



番号	表題	年代	作成	形態	数量
<b>(13) 芸術</b>					
456	日本画速成講義 刊本	明治43.9.15	矢尾大華述・安佐郡絵画講習会発行	縦冊	1冊
<b>(14) 諸芸</b>					
茶道					
145	茶道早合点 下 板本		珍阿撰・大坂書林高橋平助	縦冊	1冊
作庭					
144	築山山水伝 下 板本		弘所書林(大坂)吉文字屋市右衛門外	縦冊	1冊
華道					
142	源氏活花記 天・地 板本, 2冊, 「寛政十一未年九月調之 三冊之内」と書き込み, 「銀山町山本屋」印あり	明和元.冬至日自序	松翁齋法橋千葉龍卜述	縦冊	2冊
143	礼家活花書 上・中・下 秘伝		植木新次郎直格(写)	縦冊	1冊
217/2	○華道家元華かゝみ 花心粧の巻 刊本	明治44.7.25	池坊専啓編集・華道家元華務課発行	縦冊	(1冊)
占卜					
218/5	○古易断 内編 一~十 板本, 10冊	安永5.3.	新井謙吉(白蛾)・大坂書肆享文堂・星文堂発行	縦冊	(10冊)
遊技					
141	新撰結手将棋曲尺集 上・下 板本, 2冊	天明9.正.	(大橋)宗桂撰・浪花書林河内屋喜兵衛	縦冊	2冊
111	将碁精選 上・中・下 板本, 3冊	文久4.3.再刻	天野宗歩著・京都勝村治右衛門外	小縦冊	3冊
110	五代目大橋宗桂将碁図式 乾 板本		大橋宗桂著・浪華田中宋栄堂梓	小縦冊	1冊
108	反刻碁経衆妙 一・附録四 板本, 2冊, 「広島憲兵隊第三分隊第三管区海田市町屯所陸軍憲兵上等兵上坂熊右衛門」と書き込みあり	明治15.10.20	(岡本)元美著・大阪市岡本明玉堂売	小縦冊	2冊
60	方聚花石立 写本			縦冊	1冊
109	碁経玉たすき 一~四 刊本, 4冊	明治27.11.10	玄々齋主人著・大阪市浜本伊三郎発行	小縦冊	4冊
<b>(15) 武芸</b>					
武芸					
146	古今銘尽大全 目利 四 板本	享保2.孟春	洛陽田中庄兵衛	縦冊	1冊
123	旧法太刀業童幼解 全 写本	(江戸期)		縦冊	1冊

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
馬術					
457	岷江集目録 卷 下 大坪流乗場 法 写本	(宝暦5)	飯田平四郎	豎冊	1冊
(16) 一枚刷					
451	芸州宮島大芝居(番付) 木版	戌(嘉永3).6.吉~		一紙	1通
446	〔中島浜新地相撲番付〕 木版	(安政3.6)	板元中嶋糸末屋	一紙	1通
447	大相撲(番付) 木版	安政4.9.中旬	大坂安堂寺町谷町板元万右衛門	一紙	1通
448	江戸大相撲東之方力士鏡 木版		広島堺町平野屋周三郎	一紙	1通
449	江戸大相撲西之方力士鏡 木版		広島堺町平野屋周三郎	一紙	1通
(17) 諸記貫写集					
19	諸記貫写集 帝記	(享保~宝暦)		豎冊	1冊
20	諸記貫写集 〔撰閑記〕	(延享元)		豎冊	1冊
22	諸記貫写集 仏伝巻 太子伝一			豎冊	1冊
126	〔諸記貫写集〕 5冊一括			括	1括 (5冊)
126/1	○諸記貫写集 仏伝二 太子伝二			豎冊	(1冊)
126/2	○諸記貫写集 仏伝四 仏記高僧			豎冊	(1冊)
126/3	○諸記貫写集 仏伝八 仏記			豎冊	(1冊)
126/4	○諸記貫写集 仏伝十六 仏記			豎冊	(1冊)
126/5	○諸記貫写集 仏伝十七 仏語			豎冊	(1冊)
21	〔諸記貫写集〕 3冊一括			括	1括 (3冊)
21/1	○諸記貫写集 仏伝五 神仏			豎冊	(1冊)
21/2	○諸記貫写集 仏伝六 仏書・高僧			豎冊	(1冊)
21/3	○諸記貫写集 仏伝七 仏記高野山事			豎冊	(1冊)
23	〔諸記貫写集〕 2冊一括			括	1括 (2冊)
23/1	○諸記貫写集 七 新古今集 歌書			豎冊	(1冊)
23/2	○諸記貫写集 八 新古今集 歌書			豎冊	(1冊)
24	諸記貫写集 九 歌書 三四二並 フ清少の申事書加フ			豎冊	1冊
25	諸記貫写集 堺名歌	(寛延5)		豎冊	1冊
26	諸記貫写集 巻 恋歌 中半過大 和物語			豎冊	1冊
27	〔諸記貫写集〕 7冊一括			括	1括 (7冊)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
27/1	○ 諸記貫写集 前軍伝二 前々太平記二			豎冊	(1冊)
27/2	○ 諸記貫写集 前伝三 前々太平記三			豎冊	(1冊)
27/3	○ 諸記貫写集 前伝四 前々太平記四			豎冊	(1冊)
27/4	○ 諸記貫写集 前伝六 前々太平記六			豎冊	(1冊)
27/5	○ 諸記貫写集 前伝十 前々太平記			豎冊	(1冊)
27/6	○ 諸記貫写集 前伝十三 前々太平記			豎冊	(1冊)
27/7	○ 諸記貫写集 前伝十六			豎冊	(1冊)
28	〔 諸記貫写集 〕 6冊一括			括	1括 (6冊)
28/1	○ 諸記貫写集 中軍伝七 源姓達ノ軍伝図			豎冊	(1冊)
28/2	○ 諸記貫写集 中軍伝二 諸將軍伝図			豎冊	(1冊)
28/3	○ 諸記貫写集 中軍伝八 立花家 家伝共			豎冊	(1冊)
28/4	○ 諸記貫写集 中軍伝十二 名将 義侍哥有 後代迄 承久乱戦後			豎冊	(1冊)
28/5	○ 諸記貫写集 中軍伝十九 青野 御一戦他			豎冊	(1冊)
28/6	○ 諸記貫写集 中軍伝廿五六 後 代平記ノ写			豎冊	(1冊)
29	〔 諸記貫写集 〕 上杉・太田・筒 井・三好・浅井 諸將軍伝図			豎冊	1冊
30	諸記貫写集〔 〕伝廿八北国太平 記 二			豎冊	1冊
31	諸記貫写集 統軍十九 太平記貫 書伝			豎冊	1冊
32	諸記貫写集 十三 御治世越後記			豎冊	1冊
34	諸記貫写集 唐名芸人伝			豎冊	1冊
35	諸記貫写集 唐書			豎冊	1冊
128	諸記貫写集 末二 哥書			豎冊	1冊
39	諸記貫写集 三 歌書			豎冊	1冊
36	〔 諸記貫写集 〕 2冊一括			括	1括 (2冊)
36/1	○ 諸記貫写集 末四 歌書			豎冊	(1冊)
36/2	○ 諸記貫写集 末五 歌書			豎冊	(1冊)
37	諸記貫写集 旧記十二当ル 諸あ つめ			豎冊	1冊
38	諸記貫写集 式 縫舞伝			豎冊	1冊
40	諸記貫写集 四 歌書添 名伝芸 人			豎冊	1冊
130	諸記貫写集 十五帝記二入 故事			豎冊	1冊
131	〔 諸記貫写集 〕			括	1括 (9冊)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
131/1	○諸記貫写集 中軍伝四 江乱諸 伝軍伝図			豎冊	(1冊)
131/2	○諸記貫写集 中軍伝七 墨田家 図軍伝			豎冊	(1冊)
131/3	○諸記貫写集 中軍伝九 諸將軍 伝図			豎冊	(1冊)
131/4	○諸記貫写集 中軍伝十 諸將軍 伝家図			豎冊	(1冊)
131/5	○諸記貫写集 中軍伝十三 信長 軍秀吉卿ノ軍忠			豎冊	(1冊)
131/6	○諸記貫写集 中軍伝十四 軍家 伝			豎冊	(1冊)
131/7	○諸記貫写集 中軍伝十 諸侍 軍伝 豊臣家諸伝ノ軍伝写			豎冊	(1冊)
131/8	○諸記貫写集 中軍伝十七 諸 侍軍伝			豎冊	(1冊)
131/9	○諸記貫写集 中軍伝三十 家名 字いろは寄せ			豎冊	(1冊)
134	諸記貫写集 前伝壱 前々太平記			豎冊	1冊
132	〔諸記貫写集〕 8冊一括			括	1括 (8冊)
132/1	○諸記貫写集 前伝八 前太平記 壱			豎冊	(1冊)
132/2	○諸記貫写集 前伝九 前太平記 二			豎冊	(1冊)
132/3	○諸記貫写集 前伝十一 前太平 記四			豎冊	(1冊)
132/4	○諸記貫写集 前伝十二 平家物 語壱			豎冊	(1冊)
132/5	○諸記貫写集 前伝十四 平家物 語三			豎冊	(1冊)
132/6	○諸記貫写集 前伝十五 平家物 語四			豎冊	(1冊)
132/7	○諸記貫写集 前伝十七 源平軍 伝			豎冊	(1冊)
132/8	○諸記貫写集 前伝十八 源平藤 軍伝并二図			豎冊	(1冊)
133	〔諸記貫写集〕 8冊一括			括	1括 (8冊)
133/5	○諸記貫写集 壱 京并二諸国名 所里程			豎冊	(1冊)
133/1	○諸記貫写集 二 光源氏			豎冊	(1冊)
133/2	○諸記貫写集 三 玉代一覽			豎冊	(1冊)
133/3	○諸記貫写集 五 哥書			豎冊	(1冊)
133/4	○諸記貫写集 九 帝記			豎冊	(1冊)
133/6	○諸記貫写集 十六 礼芸			豎冊	(1冊)
133/7	○諸記貫写集 (二四) 哥 書			豎冊	(1冊)
133/8	○諸記貫写集 三十一 豊臣家ノ 事			豎冊	(1冊)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
135	〔諸記貫写集〕□ □ 北国太平記 表紙破損			縦冊	(1冊)
33	〔諸記貫写集〕 3冊一括			括	1括 (3冊)
33/1	○諸記貫写集 唐壹 呉越軍			縦冊	(1冊)
33/2	○諸記貫写集 唐三 呉越軍			縦冊	(1冊)
33/3	○諸記貫写集 唐四 呉越軍			縦冊	(1冊)
127	〔諸記貫写集〕 3冊一括			括	1括 (3冊)
127/1	○諸記貫写集 唐式 呉越軍			縦冊	(1冊)
127/3	○諸記貫写集 唐五 唐聖賢伝			縦冊	(1冊)
127/2	○諸記貫写集 唐六 表紙破損			縦冊	(1冊)
18	御治政記 六 写本			縦冊	1冊
129	〔自覚集〕 2冊一括			括	1括 (2冊)
129	○自覚集 哥書 和歌集二入末ノ 五トス 写本			縦冊	(1冊)
129	○自覚集 八 上なり 写本			縦冊	(1冊)
(18) 手本・手習い					
167	〔手習い〕 17冊一括			括	1括 (17冊)
167/1	○〔いろはにほへと...〕			折本	(1冊)
167/2	○〔其後八御物遠罷過申...〕			折本	(1冊)
167/3	○〔護白柳義経末期せん賤...〕 前後欠	天明 4 .正.26	神保屋清次郎	折本	(1冊)
167/4	○〔小諷御習被成候由...〕			折本	(1冊)
167/5	○〔無神月の定めなき時雨の雲...〕		中神寿平	折本	(1冊)
167/6	○〔御到来之由二而備前白魚...〕			折本	(1冊)
167/7	○〔其服にしも宿らねと皆これ...〕			折本	(1冊)
167/8	○〔御運被撰勅宣一或時者臥...〕 後欠		神保屋清次郎	折本	(1冊)
167/9	○初登山手習教訓	寛政 4 .		折本	(1冊)
167/10	○〔過し夜鴛鴦の声に寢覚して...〕			折本	(1冊)
167/11	○〔万事御用捨無之御世話...〕			折本	(1冊)
167/12	○〔万々目出度候...〕 後欠			折本	(1冊)
167/13	○手本□ □ (羽二重北絹生絹...)	天明 5 .10.29		折本	(1冊)
167/14	○〔天の川 あら玉のはる...〕		神保常	折本	(1冊)
167/15	○〔目鏝隨其好赤銅鑄滅...〕			折本	(1冊)
167/16	○〔依梶原讒言空被点止莫太之...〕			折本	(1冊)
167/17	○〔伊路半耳暮辺登遅里怒留越...〕			折本	(1冊)

番号	表題	年代	作成	形態	数量
165	〔手習い〕 3冊一括			括	1括 (3冊)
165/1	○〔祭二者何茂様御越可被下候...〕			折本	(1冊)
165/2	○〔寒紅桜之早咲一瓶被贈下...〕		神保屋清次郎	折本	(1冊)
165/3	○〔蒙天罪者重而問来人〕	天明6.	神保屋清次郎	折本	(1冊)
166	〔手習い 吉書 嘉辰令月〕	寛政2.極.7		折本	1冊
70	奈耳和津	文化11.孟秋	檜原	豎冊	1冊
215/5	○〔修学院和歌御会〕 千字文の一種か	(文政7.9.21)	鷹司政通外37名	折本	(1冊)
64	千金用文章 手紙	安政2.正.吉	神保屋才三郎	豎冊	1冊
65	伊呂波	安政2.3.吉	神保屋才三郎	豎冊	1冊
68	多喜羅婦久呂	安政2.8.吉	神保お増	豎冊	1冊
162	〔手習い〕 5冊一括			括	1括 (5冊)
162/1	○〔天地玄黄宇宙洪荒...〕	安政3.10.吉	神保屋才三郎	折本	(1冊)
162/2	○〔花下忌婦...〕		神保屋才三郎	折本	(1冊)
162/3	○〔吉書 君か代八...〕		神保屋才三郎	折本	(1冊)
162/4	○〔予州道後江御入治...〕		神保屋才三郎	折本	(1冊)
162/5	○〔被撰吉日御蔵棟...〕		神保屋才三郎	折本	(1冊)
66	名頭手本	安政5.正.下旬	神保屋於増	豎冊	1冊
63	家名手本	安政5.6.仲旬		豎冊	1冊
52	千字文(天地玄黄宇宙洪荒...)	万延元.5.吉	神保屋才三郎	豎冊	1冊
62	〔手習い 龍田川もみち葉...〕			豎冊	1冊
67	〔手習い 元亨利貞天道之常...〕		安芸郡海田町千葉氏	豎冊	1冊
69	源氏尽		千葉喜和	豎冊	1冊
71	〔手習い 御懇書忝致拝見候...〕			豎冊	1冊
163	〔手習い 夜終御かたり遊し...〕		東神保屋幸女	折本	1冊
215/6	○〔手習い〕 7冊一括			括	1括 (7冊)
215/6-1	○〔鶯弓羊之音信...〕			折本	(1冊)
215/6-2	○〔中元之御祝儀目出度...〕		聴江堂書	折本	(1冊)
215/6-3	○〔子を愛して教さる八...〕			折本	(1冊)
215/6-4	○〔頃日は春雨けしからぬ...〕		いわしや折枝	折本	(1冊)
215/6-5	○〔一筆啓上仕候, 太守様...〕			折本	(1冊)
215/6-6	○〔尽しなきあら玉の...〕			折本	(1冊)
215/6-7	○〔初春の御ことふき...〕			折本	(1冊)
439	〔此間者梅雨二付...〕			一紙	1通
577	〔安芸国安芸郡海田村...〕			一紙	1通
578	〔送春不用勸舟耳...〕			一紙	1通
579	〔風情候松原月雖有陰卯花...〕			一紙	1通
580	〔あら玉のとしたちふる...〕			一紙	1通
581	〔湯春之嘉祥郡鄙一統呼万歳事...〕			一紙	1通
582	〔今宵織女満天河朧月...〕			一紙	1通
583	〔為年甫之嘉儀扇子一箱...〕			一紙	1通
584	〔書 南山...〕			一紙	1通
585	〔手習い〕 3通一括			括	1括 (3通)

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
585/1	○〔但有双松当砌下...〕		ほふこ	一紙	(1通)
585/2	○〔但有双松当砌下...〕			一紙	(1通)
585/3	○〔いろはにほへと...〕			一紙	(1通)
586	〔手習い〕			括	1括 (7通)
586/1	○〔農積瓦溝 変色...〕		岡部八蔵	一紙	(1通)
586/2	○女大学(婦女と生れて八...)			一紙	(1通)
586/3	○水鶏(槇の戸をたゞく水鶏の...)			一紙	(1通)
586/4	○〔君か代は...〕		真胤	一紙	(1通)
586/5	○水鶏(槇の戸をたゞく水鶏の...)		海田神保屋弥三郎	一紙	(1通)
586/6	○閑居木(風の音のすむを...)		正端	一紙	(1通)
586/7	○〔有琴有 閑中...〕			一紙	(1通)